注３ **大学番号：私147**

届出

［平成２５年度設置］
計画の区分：学部の設置
注１

日本体育大学　児童スポーツ教育学部
注２

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人日本体育大学
平成２８年５月１日現在

作成担当者
担当部局（課）名　企画部
職名・氏名　部長（ブチョウ）　勝田（カツダ）　真也（シンヤ）

電話番号　０３－５７０６－０９０９
（夜間）　０３－５７０６－０９０２
ＦＡＸ　０３－５７０６－０８２３
ｅ－mail　katsuda@nittai.ac.jp

（注）１　「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
２　大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院　・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には，表題には設置時の旧名称を記載し，その下欄に（　　）書きにて，現在の名称を記載してください。
例）　〇〇大学　△△学部　□□学科
（◇◇学部（平成◇◇年度より学科名称変更））
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
例）
・学部の設置の場合：「〇〇大学　△△学部」
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学　△△学部　□□学科」
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学　△△学科」
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院　〇〇研究科」
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学　△△学部　□□学科（通信教育課程）」
３　大学番号の欄については，平成２８年３月３０日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

児童スポーツ教育学部

＜児童スポーツ教育学科＞　　ページ

１．調査対象大学等の概要等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　1

２．授業科目の概要　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　9

３．施設・設備の整備状況、経費　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　15

４．既設大学等の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　16

５．教員組織の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　18

６．留意事項等に対する履行状況等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　28

７．その他全般的事項　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　29

1　調査対象大学等の概要等

（1）設　置　者

学校法人　日本体育大学

（2）大　学　名

日本体育大学大学

（3）大学の位置

〒１５８－８５０８
東京都世田谷区深沢七丁目１番１号

（注）・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合，本部の位置を（　）書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には，複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

（4）管理運営組織

職　　名	設　　置　　時	変　更　状　況	備　　考
理 事 長	（マツナミ　ケンシロウ） 松浪　健四郎 （平成２３年６月）	（フリガナ） 氏　　名 （現職就任年月）	
学　　長	（タニガマ　リョウショウ） 谷釜　了正 （平成22年9月）		
学 部 長	（クボ　タケシ） 久保　健 （平成25年4月）		
学科長等	（オカモト　ミワコ） 岡本　美和子 （平成25年4月）		

（注）・「変更状況」は，変更があった場合に記入し，併せて「備考」に変更の理由と変更年月日，報告年度を（　）書きで記入してください。
（例）平成２６年度に報告済の内容　→（26）
平成２８年度に報告する内容　→（28）
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば，「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば，そこに赤字で見え消し修正）するとともに，上記と同様に，「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には，「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は，各職に相当する職名の方を記載してください。

（５）　調査対象学部等の名称，定員，入学者の状況等

（注）・　当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等，定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
・　なお，課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は，法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
・　様式は，平成２５年度開設の４年制の学科の場合（平成２８年度までの４年間）ですが，開設年度・修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が３年以下の場合には欄を削除し，５年以上の場合には，欄を設けてください。）

（５）－①　調査対象学部等の名称，定員

調査対象学部等の名称（学位）	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
	年	人	年次 人	人	
児童スポーツ教育学部 児童スポーツ教育学科					
児童スポーツ教育コース	4	150	－	600	
幼児教育保育コース	4	50	－	200	
学士（児童スポーツ教育学）					

（注）・定員を変更した場合は，「備考」に変更前の人数，変更年月及び報告年度を（　）書きで記入してください。
・学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。

（５）－②　調査対象学部等の入学者の状況

児童スポーツ教育学科

区分＼対象年度	平成２５年度		平成２６年度		平成２７年度		平成２８年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A　入学定員	人 200 (　) [　]	人	人 200 (　) [　]	人	人 200 (　) [　]	人	人 200 (　) [　]	人	1.03倍	
志願者数	418 (－) [－]	(－) [－]	976 (－) [－]	(－) [－]	906 (－) [－]	(－) [－]	897 (－) [－]	(－) [－]		
受験者数	395 (－) [－]	(－) [－]	953 (－) [－]	(－) [－]	873 (－) [－]	(－) [－]	862 (－) [－]	(－) [－]		
合格者数	230 (－) [－]	(－) [－]	285 (－) [－]	(－) [－]	268 (－) [－]	(－) [－]	281 (－) [－]	(－) [－]		
B　入学者数	211 (－) [－]	(－) [－]	206 (－) [－]	(－) [－]	208 (－) [－]	(－) [－]	204 (－) [－]	(－) [－]		
入学定員超過率 B／A	1.05		1.03		1.04		1.02			

児童スポーツ教育コース

区分 ＼ 対象年度	平成２５年度		平成２６年度		平成２７年度		平成２８年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人 150 ( ) [ ]	人	人 150 ( ) [ ]	人	人 150 ( ) [ ]	人	人 150 ( ) [ ]	人	1.03倍	
志願者数	362 (−) [−]	(−) [−]	758 (−) [−]	(−) [−]	748 (−) [−]	(−) [−]	723 (−) [−]	(−) [−]		
受験者数	340 (−) [−]	(−) [−]	740 (−) [−]	(−) [−]	721 (−) [−]	(−) [−]	690 (−) [−]	(−) [−]		
合格者数	176 (−) [−]	(−) [−]	228 (−) [−]	(−) [−]	207 (−) [−]	(−) [−]	220 (−) [−]	(−) [−]		
B 入学者数	160 (−) [−]	(−) [−]	154 (−) [−]	(−) [−]	157 (−) [−]	(−) [−]	154 (−) [−]	(−) [−]		
入学定員超過率 B／A	1.06		1.02		1.04		1.02			

幼児教育保育コース

区分 ＼ 対象年度	平成２５年度		平成２６年度		平成２７年度		平成２８年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人 50 ( ) [ ]	人	人 50 ( ) [ ]	人	人 50 ( ) [ ]	人	人 50 ( ) [ ]	人	1.02倍	
志願者数	56 (−) [−]	(−) [−]	218 (−) [−]	(−) [−]	158 (−) [−]	(−) [−]	174 (−) [−]	(−) [−]		
受験者数	55 (−) [−]	(−) [−]	213 (−) [−]	(−) [−]	152 (−) [−]	(−) [−]	172 (−) [−]	(−) [−]		
合格者数	54 (−) [−]	(−) [−]	57 (−) [−]	(−) [−]	61 (−) [−]	(−) [−]	61 (−) [−]	(−) [−]		
B 入学者数	51 (−) [−]	(−) [−]	52 (−) [−]	(−) [−]	51 (−) [−]	(−) [−]	50 (−) [−]	(−) [−]		
入学定員超過率 B／A	1.02		1.04		1.02		1.00			

（注）・ 数字は，平成２８年５月１日現在の数字を記入してください。

・ （ ）内には，編入学の状況について**外数で**記入してください。なお，編入学を複数年次で行っている場合には，(( ))書きとするなどし，その旨を「備考」に付記してください。 該当がない年には「ー」を記入してください。

・ [ ]内には，留学生の状況について**内数で**記入してください。該当がない年には「ー」を記入してください。

・ 留学生については，「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により，我が国の大学（大学院を含む。），短期大学，高等専門学校，専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。

・ 短期交換留学生など，定員内に含めていない学生については記入しないでください。

・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「ー」を記入してください。また，その他の学期に入学定員を設けている場合は，備考欄にその人数を記入してください。

・ 「入学定員超過率」については，**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員，入学者数で算出**してください。なお，計算の際は小数点以下第３位を切り捨て，小数点以下第２位まで記入してください。

・ 「平均入学定員超過率」には，開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお，計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

（５）－③　調査対象学部等の在学者の状況

児童スポーツ教育学科

対象年度 / 学年	平成２５年度		平成２６年度		平成２７年度		平成２８年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
１年次	[－] (－) 211	[－] (－)	[－] (－) 206	[－] (－)	[－] (－) 208	[－] (－)	[ ] 204	[ ]	
２年次			[－] (－) 209	[－] (－)	[－] (－) 201	[－] (－)	[ ] ( ) 207	[ ] ( )	
３年次					[－] (－) 207	[－] (－)	[ ] ( ) 199	[ ] ( )	
４年次							[ ] ( ) 204	[ ] ( )	
計	[－] (－) 211		[－] (－) 415		[－] (－) 616		[ ] ( ) 814		

児童スポーツ教育コース

対象年度 / 学年	平成２５年度		平成２６年度		平成２７年度		平成２８年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
１年次	[－] (－) 160	[－] (－)	[－] (－) 154	[－] (－)	[－] (－) 157	[－] (－)	[ ] 154	[ ]	
２年次			[－] (－) 159	[－] (－)	[－] (－) 152	[－] (－)	[ ] ( ) 156	[ ] ( )	
３年次					[－] (－) 158	[－] (－)	[ ] ( ) 154	[ ] ( )	
４年次							[ ] ( ) 154	[ ] ( )	
計	[－] (－) 160		[－] (－) 313		[－] (－) 467		[ ] ( ) 618		

幼児教育保育コース

対象年度 / 学年	平成２５年度		平成２６年度		平成２７年度		平成２８年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
１年次	[－] (－) 51	[－] (－)	[－] (－) 52	[－] (－)	[－] (－) 51	[－] (－)	[ ] 50	[ ]	
２年次			[－] (－) 50	[－] (－)	[－] (－) 49	[－] (－)	[ ] ( ) 51	[ ] ( )	
３年次					[－] (－) 49	[－] (－)	[ ] ( ) 47	[ ] ( )	
４年次							[ ] ( ) 48	[ ] ( )	
計	[－] (－) 51		[－] (－) 102		[－] (－) 149		[ ] ( ) 196		

（注）・　数字は，平成２８年５月１日現在の数字を記入してください。

・　[　　]内には，留学生の状況について**内数で**記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。

・　留学生については，「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により，我が国の大学（大学院を含む。），短期大学，高等専門学校，専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。

・　短期交換留学生など，定員内に含めていない学生については記入しないでください。

・　学期の区分に従い学生を入学させる場合は，春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は，その他の学期欄は「－」を記入してください。また，その他の学期に入学定員を設けている場合は，備考欄にその人数を記入してください。

・　「計」については，**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数，留学生数**を記入してください。

・（　）内には，留年者の状況について，内数で記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。

（５）－④　調査対象学部等の退学者等の状況

児童スポーツ教育学科

区分 / 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に対する退学者数の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数		
平成25年度入学者	211 人	7 人	平成25年度	1 人	0 人	学生個人の心身に関する事情(1人)	3.3 %
			平成26年度	3 人	0 人	進路変更(2人)、就学意欲の低下(1人)	
			平成27年度	3 人	0 人	一身上の都合(2人)、就職(1人)	
			平成28年度	0 人	人		
平成26年度入学者	206 人	7 人	平成26年度	4 人	0 人	学生個人の心身に関する事情(1人) 他の教育機関への入学・転学(1人) 就職(1人) 除籍(1人)	3.4 %
			平成27年度	3 人	0 人	他の教育機関への入学・転学(1人) 学生個人の心身に関する事情(1人)、就職(1人)	
			平成28年度	0 人	人		
平成27年度入学者	208 人	1 人	平成27年度	0 人	0 人		0.5 %
			平成28年度	1 人	0 人	進路変更(1人)	
平成28年度入学者	204 人	0 人	平成28年度	0 人	人		0 %
合　計	829 人	15 人					1.8 %

（注）・ 数字は，平成28年5月1日現在の数字を記入してください。

・ 各年度の入学者数については，該当年度当初に入学した人数を記入してください。（途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。）

・ 各年度の退学者数については，退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。

・ 留学生については，「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により，我が国の大学（大学院を含む。），短期大学，高等専門学校，専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。

・ 短期交換留学生など，定員内に含めていない学生については記入しないでください。

・「入学者数に対する退学者数の割合」は，【当該対象年度の入学者のうち，平成28年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を，【当該対象年度の入学者数】で除した割合（%）を記入してください。その際，小数点以下第2位を四捨五入し，小数点以下第1位までを記入してください

・「主な退学理由」は，下の項目を参考に記入してください。その際，「就学意欲の低下（○人）」というように，その人数も含めて記入してください。

（記入項目例）・就学意欲の低下　・学力不足　・他の教育機関への入学・転学　・海外留学
・就職　・学生個人の心身に関する事情　・家庭の事情　・除籍　・その他

児童スポーツ教育コース

区分 / 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に対する退学者数の割合(a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数		
平成25年度入学者	160 人	4 人	平成25年度	0 人	0 人		2.5 %
			平成26年度	2 人	0 人	進路変更(1人)、就学意欲の低下(1人)	
			平成27年度	2 人	0 人	一身上の都合(2人)	
			平成28年度	0 人	人		
平成26年度入学者	154 人	2 人	平成26年度	1 人	0 人	除籍(1人)	1.3 %
			平成27年度	1 人	0 人	他の教育機関への入学・転学(1人)	
			平成28年度	0 人	人		
平成27年度入学者	157 人	1 人	平成27年度	0 人	0 人		0.6 %
			平成28年度	1 人	0 人	進路変更(1人)	
平成28年度入学者	154 人	0 人	平成28年度	0 人	人		0 %
合　計	625 人	7 人					1.1 %

(注)・ 数字は，平成28年5月1日現在の数字を記入してください。

・ 各年度の入学者数については，該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)

・ 各年度の退学者数については，退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。

・ 留学生については，「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により，我が国の大学（大学院を含む。），短期大学，高等専門学校，専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。

・ 短期交換留学生など，定員内に含めていない学生については記入しないでください。

・「入学者数に対する退学者数の割合」は，【当該対象年度の入学者のうち，平成28年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を，【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際，小数点以下第2位を四捨五入し，小数点以下第1位までを記入してください

・「主な退学理由」は，下の項目を参考に記入してください。その際，「就学意欲の低下(○人)」というように，その人数も含めて記入してください。

(記入項目例)・就学意欲の低下　・学力不足　・他の教育機関への入学・転学　・海外留学
・就職　・学生個人の心身に関する事情　・家庭の事情　・除籍　・その他

幼児教育保育コース

区分 / 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳) 退学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数	主な退学理由	入学者数に対する退学者数の割合 (a/b)
平成25年度入学者	51 人	3 人	平成25年度	1 人	0 人	学生個人の心身に関する事情(1人)	5.9 %
			平成26年度	1 人	0 人	進路変更(1人)	
			平成27年度	1 人	0 人	就職(1人)	
			平成28年度	0 人	人		
平成26年度入学者	52 人	5 人	平成26年度	3 人	0 人	学生個人の心身に関する事情(1人) 他の教育機関への入学・転学(1人) 就職(1人)	9.6 %
			平成27年度	2 人	0 人	学生個人の心身に関する事情(1人) 就職(1人)	
			平成28年度	0 人	人		
平成27年度入学者	51 人	0 人	平成27年度	0 人	0 人		0 %
			平成28年度	0 人	人		
平成28年度入学者	50 人	0 人	平成28年度	0 人	人		0 %
合　計	204 人	8 人					3.9 %

(注)・ 数字は，平成28年5月1日現在の数字を記入してください。

・ 各年度の入学者数については，該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)

・ 各年度の退学者数については，退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。

・ 留学生については，「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により，我が国の大学（大学院を含む。），短期大学，高等専門学校，専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。

・ 短期交換留学生など，定員内に含めていない学生については記入しないでください。

・「入学者数に対する退学者数の割合」は，【当該対象年度の入学者のうち，平成28年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を，【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際，小数点以下第2位を四捨五入し，小数点以下第1位までを記入してください

・「主な退学理由」は，下の項目を参考に記入してください。その際，「就学意欲の低下(○人)」というように，その人数も含めて記入してください。

(記入項目例)・就学意欲の低下　・学力不足　・他の教育機関への入学・転学　・海外留学
・就職　・学生個人の心身に関する事情　・家庭の事情　・除籍　・その他

2　授業科目の概要

＜児童スポーツ教育学部　児童スポーツ教育学科＞

（1） 授業科目表

科目区分1	科目区分2	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考
学部共通科目	言語コミュニケーション科目	基礎英語Ⅰ	1前	1			~~1~~ 0 1					~~兼1~~ ~~2~~ 1
		基礎英語Ⅱ	1後	1			~~1~~ 0 1					~~兼1~~ ~~2~~ 1
		英語コミュニケーションⅠ	2前	1			~~1~~ 0 1					~~兼1~~ ~~2~~ 1
		英語コミュニケーションⅡ	2後	1			~~1~~ 0 1					~~兼1~~ ~~2~~ 1
		小計(4科目)	—	4	0	0	~~1~~ 0 1					~~兼1~~ ~~2~~ 1　—
	教養科目	現代社会と憲法	1前		2							兼1
		情報機器の操作	1前		2							~~兼1~~ ~~3~~ 2
		こころと行動の科学	1前		2							兼1
		生命の科学	2前		2							兼1
		変貌する社会と人間生活	2後		2		1					
		身体とスポーツの文化論	1前		2		1					
		文学と人間	2前		2							兼1
		経済学から眺める社会	2後		2							兼1
		小計(8科目)	—	0	16	0	2					~~兼6~~ ~~8~~ 7　—
	総合科目	日体大の歴史(日体伝統実習を含む)	1前	2								兼1
		野外活動実習	1前	1			1					集中
		小計(2科目)	—	3	0	0	1					兼1　—
	基軸科目	基礎ｾﾐﾅｰﾙⅠ	1前	1			~~3~~ ~~1~~ 3	~~4~~ 0 5		~~1~~ 0		~~兼7~~
		基礎ｾﾐﾅｰﾙⅡ(アカデミックリテラシー)	1後	1			2	~~1~~ 2		~~1~~ 0		オムニバス
		児童スポーツ教育演習	2通	2			~~3~~ ~~2~~ ~~3~~ 4	~~3~~ ~~2~~ ~~3~~ 2				~~兼2~~　オムニバス
		児童スポーツ教育研究Ⅰ	3通	2			~~17~~ ~~14~~ ~~19~~ ~~(9)~~ 21	~~12~~ 3 ~~11~~ 10		~~4~~ ~~2~~ ~~3~~ 2		~~兼14~~
		児童スポーツ教育研究Ⅱ	4通	2			~~17~~ ~~14~~ ~~19~~ ~~(9)~~ 21	~~12~~ 3 ~~11~~ 10		~~4~~ ~~2~~ ~~3~~ 2		~~兼14~~
		小計(5科目)	—	8	0	0	~~17~~ ~~14~~ ~~19~~ ~~(9)~~ 21	~~12~~ 3 ~~11~~ 10		~~4~~ ~~2~~ ~~3~~ 2		~~兼14~~　—
学科共通科目	基幹科目	学校教育論	2前	2			1	1		~~1~~ 0		オムニバス
		現代子ども論	3~~後~~	2			1	~~1~~ 2				~~兼1~~　オムニバス
		教材・教具論	4~~前~~	2			~~4~~ 5	~~1~~ 0				オムニバス
		児童スポーツ教育論	~~1前~~	~~2~~			~~1~~	~~1~~				~~オムニバス~~
		児童健康教育論	1後	~~2~~								~~兼1~~
		発育発達論	2前	2								兼1
		児童の身体の仕組み	1~~前~~	~~2~~			~~1~~					~~兼1~~　~~オムニバス~~
		児童スポーツ指導論	2~~前~~	~~2~~			~~1~~	~~1~~				~~オムニバス~~
		児童の体つくりと動きつくり	3~~前~~	~~2~~			~~2~~	~~1~~				~~オムニバス~~
		スポーツ生理学	1後	~~2~~				~~1~~				
		スポーツバイオメカニクス	3~~前~~	~~2~~				~~1~~				
		食育論	1前	2						1		
		~~小計(8科目)~~	—	~~16~~	~~0~~	~~0~~	~~4~~	~~3~~				~~兼3~~
		小計(5科目)	—	10	0	0	~~6~~ 7	~~2~~ 3		~~2~~ 1		兼~~2~~ 1
		児童スポーツ教育論	1前	2			~~1~~ 0 1	~~1~~ 0				~~オムニバス~~
		児童スポーツ指導論	2前	2			~~1~~ 2	~~1~~ 0				オムニバス
		児童健康教育論	1後	2								兼1
		小計(3科目)	—	6	0	0	~~2~~ ~~1~~ 2	~~1~~ 0				兼1
		児童の身体の仕組み	1前	2			1					兼1　オムニバス
		児童の体つくりと動きつくり	3前	2			~~2~~ 3	~~1~~ 0				~~兼1~~　オムニバス
		スポーツ生理学	1後	2			1	~~1~~ 0				~~兼1~~
		スポーツバイオメカニクス	3前	2				1				
		ライフステージ栄養学	2前		2					1		
		小計(5科目)	—	8	2	0	~~3~~ 4	~~1~~ ~~2~~ 1		1		兼~~2~~ 1
		~~食育論~~	1~~前~~	~~2~~						~~1~~		
		~~ライフステージ栄養学~~	2~~前~~		~~2~~					~~1~~		
		~~小計(2科目)~~	—	~~2~~	~~2~~	~~0~~				~~1~~		

備考：
- 言語コミュニケーション科目：短大は廃止予定であり、学生が在学する間、短大所属専任教員としたため、当学部専任教員としての発令を留保(平成26年4月専任教員発令予定)(25)　平成26年4月専任教員として発令(26)
- 教養科目：教育指導体制充実のため担当者を追加(25)　担当(杉本和子　村井和夫)　担当者の変更(28)　担当(林忠男(教授)、村井和夫(兼任))
- 基軸科目：短大は廃止予定であり、学生が在学する間、短大所属専任教員としたため、当学部専任教員としての発令を留保(平成26年4月専任教員発令予定)(25)　平成26年4月専任教員として発令(26)　准教授から教授に1名昇任のため(28)
- 児童スポーツ教育研究Ⅰ：准教授から教授に2名昇任のため(26)、助教から准教授に1名昇任のため(26)
- 児童スポーツ教育研究Ⅱ：准教授から教授に1名昇任のため(27)、助教から准教授に1名昇任のため(27)
- 学校教育論：教職課程認定における委員会の指摘により、科目を追加(25)　担当　森嶋昭伸(教授)、関琴(助教)　助教から准教授に1名昇任のため(27)
- 現代子ども論：教職課程認定における委員会の指摘により、科目を追加(25)　担当　岡本美和子(教授)、雷藤崇(准教授)、宇部弘子(兼任)　平成26年4月専任教員として発令(26)
- 教材・教具論：教職課程認定における委員会の指摘により、科目を追加(25)　担当　角屋重樹(教授)、島田功(教授)、奥泉香(教授)、篠瀬武則(教授)、近藤智靖(准教授)　准教授から教授に1名昇任のため(27)
- 児童スポーツ教育論、児童健康教育論：教職課程認定における委員会の指摘により、区分2の科目区分である「基幹科目」内の区分を再編成したため当該区分内の教科目を細分化した新区分に移動(25)
- 児童の身体の仕組み、児童スポーツ指導論、児童の体つくりと動きつくり、スポーツ生理学、スポーツバイオメカニクス：教職課程認定における委員会の指摘により、区分2の科目区分である「基幹科目」内の区分を再編成したため当該区分内の教科目を細分化した新区分に移動(25)
- 食育論：教職課程認定における委員会の指摘により、区分2の科目区分である「基幹科目」内の区分を再編成したため当該序列区分に移動(25)
- 小計(8科目)：「基幹科目」内の区分を再編成により削除(25)
- 児童スポーツ教育論：平成25年7月教授1名死亡のため(26)　准教授から教授に1名昇任のため(27)
- 児童スポーツ指導論、児童健康教育論：教職課程認定における委員会の指摘により、区分2の科目区分である「基幹科目」内の区分を再編成したため当該区分内の教科目を本区分に移動(25)
- 児童の身体の仕組み、児童の体つくりと動きつくり：短大は廃止予定であり、学生が在学する間、短大所属専任教員としたため、当学部専任教員としての発令を留保(平成26年4月専任教員発令予定)(25)　平成26年4月専任教員として発令(26)　准教授から教授に1名昇任のため(28)
- ライフステージ栄養学：教職課程認定における委員会の指摘により、区分2の科目区分である「基幹科目」内の区分を再編成したため当該区分内の教科目を本区分に移動(25)
- 食育論、ライフステージ栄養学：教職課程認定における委員会の指摘により、区分2の科目区分である「基幹科目」内の区分を再編成したため当該区分内の教科目を細分化した新区分に移動(25)

学科　共通科目	スポーツ実技科目	体つくり運動(体操)	2前	1				~~1~~0 1				~~兼1~~	姫大は廃止予定であり、学生が在学する間、姫大所属専任教員としたため、当学部専任教員としての発令を留保(平成26年4月専任教員発令予定)(25) 平成26年4月専任教員として発令(26)
		ダンス	1後	1			1	~~1~~0				~~兼1~~	准教授から教授へ1名昇任のため(26)
		小計(2科目)	—	2	0	0	1	~~2~~0 1				~~兼2~~	—
		器械運動	1後		1			~~1~~0 1				~~兼1~~	姫大は廃止予定であり、学生が在学する間、姫大所属専任教員としたため、当学部専任教員としての発令を留保(平成26年4月専任教員発令予定)(25)
		陸上競技			1			~~1~~0 1				~~兼1~~	平成26年4月専任教員として発令(26)
		水泳	1前		1							~~兼1~~4 5	教育指導体制充実のため担当者追加(25)　担当(杉沼泰美、遠藤大敬、森田美雪) 教育指導体制充実のため担当者追加(27)　担当(河田聖良)
		ボールゲーム	1前		1		1	~~1~~0		~~1~~0 1		~~兼2~~	担当者の変更(28)　担当(大本淳嗣(教授)、杉沼泰美、遠藤大敬、森田美雪、中嶋敏光(教授)) オムニバス　准教授から教授へ1名昇任のため(26)
		柔道	3前		1			~~1~~0 1				~~兼1~~	
		エアロビックエクササイズ	3前		1			1		~~1~~0		~~兼1~~	助教から准教授へ1名昇任のため(26)
		レクリエーション	4前		1							兼1	
		小計(7科目)	—	0	7	0	1	~~4~~0 4		~~2~~0 1		~~兼2~~ ~~11~~ 5 6	—
	自由科目	アダプテッドスポーツ論	3後			2						兼1	
		アダプテッドスポーツ実技	4前			1						兼1	
		スポーツ現場実務論	3後			2	1	~~1~~0 ~~2~~ 1		~~2~~0 1		~~兼3~~	オムニバス　姫大は廃止予定であり、学生が在学する間、姫大所属専任教員としたため、当学部専任教員としての発令を留保(平成26年4月専任教員発令予定)(25) 平成26年4月専任教員として発令(26)、助教から准教授に1名昇任のため(26)
		スポーツ現場実習	4前・後			1	1	~~1~~0 ~~2~~ 1		~~2~~0 1		~~兼3~~	集中　准教授から教授に1名昇任のため(28)
		小計(4科目)	—	0	0	6	1	~~1~~0 ~~2~~ 1		~~2~~0 1		~~兼1~~ ~~4~~ 1	—
児童スポーツ教育コース　専門科目	基幹科目	~~スポーツの歴史と本質~~	~~1後~~		~~2~~							~~兼1~~	教職課程認定における委員会の指摘により、区分1の科目区分である「コース専門科目」内の区分2の構成を再編成したため「コース専門科目」内の序列を変更(25)
		~~児童スポーツトレーニング学~~	~~2前~~		~~2~~			~~1~~					
		~~発達障害と特別支援教育~~	~~3後~~		~~2~~			~~1~~				~~兼1~~	~~オムニバス~~
		~~児童スポーツコーチング学~~	~~2前~~		~~2~~			~~2~~					~~オムニバス~~
		~~スポーツ社会学~~	~~3後~~		~~2~~					~~1~~			
		~~スポーツ心理学~~	~~2後~~		~~2~~		~~1~~						
		~~スポーツ経営管理学~~	~~4後~~		~~2~~							~~兼1~~	
		~~身体と運動の測定評価学~~	~~3前~~		~~2~~							~~兼1~~	
		~~スポーツ栄養学~~	~~4後~~		~~2~~					~~1~~			
		~~衛生学・公衆衛生学~~	~~3前~~		~~2~~							~~兼1~~	
		~~児童医学~~	~~4前~~		~~2~~							~~兼1~~	
		~~小計(11科目)~~	~~—~~	~~0~~	~~22~~	~~0~~	~~1~~	~~4~~		~~2~~		~~兼4~~	~~—~~
	展開科目	~~学校保健(小児保健・精神保健を含む)~~	~~3前~~		~~2~~							~~兼1~~	教職課程認定における委員会の指摘により、区分1の科目区分である「コース専門科目」内の区分2の構成を再編成したため「コース専門科目」内の序列を変更(25)
		~~ヘルスプロモーション~~	~~3前~~		~~2~~							~~兼1~~	
		~~生涯スポーツ論~~	~~4後~~		~~2~~					~~1~~			
		~~野外活動論~~	~~4前~~		~~2~~							~~兼1~~	
		~~トレーニング実践演習~~	~~4後~~		~~1~~			~~1~~					
		~~救急処置実習(テーピングを含む)~~	~~4後~~		~~1~~							~~兼1~~	
		~~小計(6科目)~~	~~—~~	~~0~~	~~10~~	~~0~~		~~1~~		~~1~~		~~兼4~~	~~—~~
	教育の基礎	教育原理	1前		2		~~1~~0	1		~~1~~0			教職課程認定における委員会の指摘により、担当者変更(25)　担当　関 栄(助教) 助教から准教授に1名昇任のため(27)
		保育原理	1前		2			1					
		教育の方法と技術(メディア教育を含む)	2後		2		2						オムニバス
		教育の制度と経営	3後		2			1		~~1~~0			助教から准教授に1名昇任のため(27)
		教師論	1前		2		1						
		発達心理学	3後		2							兼1	
		人権教育	4前		2		1						
		小計(7科目)	—	0	14	0	3	~~1~~ 2		~~1~~0		兼1	—
		特別活動の指導法	1後		2		1						
		教育心理学	1後		2							兼1	
		教育課程論	2前		2		~~1~~0					兼1	教職課程認定における委員会の指摘により、担当者変更(25)　担当(藤原文雄)
		道徳教育指導論	2後		2		1			~~1~~0			教職課程認定における委員会の指摘により、担当者変更(25)　担当　森 敬(教授)
		教育相談(カウンセリングを含む)	3前		2			~~1~~0				兼1	~~オムニバス~~　教職課程認定における委員会の指摘により、担当者変更・単独開講に変更(25)
		幼児理解	4前		2			1					
		生徒指導論(進路指導を含む)	3前		2		1						
		小計(7科目)	—	0	14	0	2	~~2~~ 1		~~1~~0		兼2 3	—
	教育の教科の内容及び指導法	初等体育A(個人スポーツ)	2通		2		1	~~3~~0 2				~~兼3~~	オムニバス　姫大は廃止予定であり、学生が在学する間、姫大所属専任教員としたため、当学部専任教員としての発令を留保(平成26年4月専任教員発令予定)(25) 平成26年4月専任教員として発令(26)
		初等体育B(対人・集団スポーツ)	2通		2		~~1~~0 1			~~1~~0 1		~~兼2~~	オムニバス
		初等体育C(子どもの運動遊び)	2通		2		1	~~1~~0 2		~~1~~0		~~兼2~~	オムニバス　助教から准教授に1名昇任のため(26)
		小計(3科目)	—	0	6	0	~~2~~ ~~1~~ 3	~~4~~ 0 4		~~2~~0 1		~~兼7~~	—
		初等国語(書写を含む)	2後		2		1					兼1	オムニバス　教職課程認定における委員会の指摘により、オムニバス開講に変更・担当者追加(25)　担当(荒井一浩)
		初等算数	1前		2		1						
		初等音楽	1通		2		1					兼4	
		初等図画工作	3通		2							兼1	
		小計(4科目)	—	0	8	0	3					兼5 6	—
		初等理科	1後		2		1						
		初等社会	1後		2		1						
		初等家庭科	2前		2							兼1	
		初等生活	3前		2		2						オムニバス
		小計(4科目)	—	0	8	0	2					兼1	—

児童スポーツ教育コース　専門科目	教育の教科の内容及び指導法	初等体育科教育法	2後		2		~~2~~1					~~オムニバス~~	平成28年7月教授1名死亡のため(26)
		初等国語科教育法	3後		2		1				兼1	オムニバス	教職課程認定における委員会の指摘により、オムニバス開講に変更・担当者追加(25)　担当(荒井一徳)
		初等理科教育法	2前		2		1						
		初等算数科教育法	3後		2		1						
		初等社会科教育法	3後		2		1						
		初等音楽科教育法	2後		2						兼1		
		初等図画工作科教育法	3後		2						兼1		
		初等家庭科教育法	3後		2						兼1		
		初等生活科教育法	3後		2		2					オムニバス	
		小計(9科目)	—	0	18	0	~~6~~5				兼~~3~~4	—	
		国語科教育実践*演習*論	4前		2		1				兼1	オムニバス	教職課程認定における委員会の指摘により、オムニバス開講に変更・担当者追加(25)　担当(荒井一徳)
		算数科教育実践*演習*論	4前		2		1						教職課程認定における委員会の指摘により、科目名称を変更(25)
		理科教育実践*演習*論	4前		2		1						
		社会科教育実践*演習*論	4前		2		1						
		体育科教育実践*演習*論	4前		2		~~1~~2	~~1~~0				オムニバス	教授から教授に1名昇任のため(27)
		小計(5科目)	—	0	10	0	~~5~~6	~~1~~0			兼1	—	
	児童スポーツ教育科目	スポーツの歴史と本質	1後		2						兼1		姫大は廃止予定であり、学生が在学する間、姫大所属専任教員としたため、当学部専任教員としての発令を留保(平成26年4月専任教員発令予定)(25) 平成26年4月専任教員として発令(26)
		児童スポーツトレーニング学	2前		2		1	~~1~~0~~1~~0			兼~~1~~		准教授から教授に1名昇任のため(28)
		発達障害と特別支援教育	3後		2			~~1~~0			兼1	~~オムニバス~~	教職課程認定における委員会の指摘により、担当者1名取下・単独開講に変更(25)
		児童スポーツコーチング学	2前		2			~~2~~1~~2~~			兼~~1~~	オムニバス	姫大は廃止予定であり、学生が在学する間、姫大所属専任教員としたため、当学部専任教員としての発令を留保(平成26年4月専任教員発令予定)(25) 平成26年4月専任教員として発令(26)
		スポーツ社会学	3後		2			1		~~1~~0	兼~~1~~		
		スポーツ心理学	2後		2		1						
		スポーツ経営管理学	4後		2						兼1		教職課程認定における委員会の指摘により、区分1の科目区分である「コース専門科目」内の区分2の構成を再編成したため「コース専門科目」内の序列を変更(25)
		身体と運動の測定評価学	3前		2						兼1		
		スポーツ栄養学	4後		2					1			
		衛生学・公衆衛生学	3前		2						兼1		
		児童医学	4前		2		1				兼~~1~~		平成28年7月教授1名死亡に伴う、既設体育学部からの移籍教員教補充のため、平成26年1月専任教員として発令(26)
		小計(11科目)	—	0	22	0	~~1~~~~2~~3	~~4~~1~~4~~3		~~2~~1	兼~~4~~9	5 —	
	児童スポーツ教育科目	学校保健(小児保健・精神保健を含む)	3前		2						兼1		
		ヘルスプロモーション	3前		2						兼1		
		生涯スポーツ論	4後		2			1		~~1~~0	兼~~1~~		姫大は廃止予定であり、学生が在学する間、姫大所属専任教員としたため、当学部専任教員としての発令を留保(平成26年4月専任教員発令予定)(25) 平成26年4月専任教員として発令(26)
		野外活動論	4前		2						兼1		教職課程認定における委員会の指摘により、区分1の科目区分である「コース専門科目」内の区分2の構成を再編成したため「コース専門科目」内の序列を変更(25)
		トレーニング実践演習	4後		1			1					
		救急処置実習(テーピングを含む)	4後		1						兼1		
		小計(6科目)	—	0	10	0		~~1~~2		~~1~~0	兼~~4~~5	4 —	
児童スポーツ教育コース　自由科目	幼児教育の指導法	保育内容総論	3後			2		1					
		保育内容(健康)指導法	4前			2	1						姫大は廃止予定であり、学生が在学する間、姫大所属専任教員としたため、当学部専任教員としての発令を留保(平成26年4月専任教員発令予定)(25) 平成26年4月専任教員として発令(26)
		保育内容(人間関係)指導法	4前			2	~~1~~0~~1~~				兼~~1~~		
		保育内容(環境)指導法	4後			2	1						
		保育内容(言葉)指導法	4後			2	1				兼1	オムニバス	教職課程認定における委員会の指摘により、オムニバス開講に変更・担当者の追加(25)　担当(豊藤正典)
		保育内容(表現)指導法	4前			2					兼1		教職課程認定における委員会の指摘により、科目名称を変更(25)
		保育内容(造形表現)指導法	4前			2					兼1		
		小計(7科目)	—	0	0	14	~~3~~~~2~~3	1			兼~~2~~~~4~~3	—	
	教育実習	教育実習指導Ⅰ	3前			1	2	1		~~1~~0		オムニバス	助教から准教授に1名昇任のため(27)
		教育実習Ⅰ(小学校)	3後			2	2	1		~~1~~0		集中	助教から准教授に1名昇任のため(27)
		教育実習指導Ⅱ	4前			1	3					オムニバス	
		教育実習Ⅱ(小学校)	4前			2	3					集中	
		教職実践演習(幼稚園・小学校)	4後			2	3					オムニバス	教職課程認定における委員会の指摘により、科目名称を変更(25)
		小計(5科目)	—	0	0	8	4	1		~~1~~0		—	

幼児教育保育コース 専門科目	幼児教育保育 基幹科目	子どもの運動遊び	2後		1		1							
		子ども家庭福祉	1後		2			~~1~~0 1				~~兼1~~		短大は廃止予定であり、学生が在学する間、短大所属専任教員としたため、当学部専任教員としての発令を留保(平成26年4月専任教員発令予定)(25) 平成26年4月専任教員として発令(26)
		社会福祉学	2前		2			~~1~~0 1				~~兼1~~		
		教育・保育課程論	2後		2		~~1~~0 1	1				~~兼1~~	オムニバス	
		保育者論	2後		2			1						
		社会的養護	3前		2		~~1~~0 1					~~兼1~~		短大は廃止予定であり、学生が在学する間、短大所属専任教員としたため、当学部専任教員としての発令を留保(平成26年4月専任教員発令予定)(25) 平成26年4月専任教員として発令(26)
		家庭支援論	4前		2		~~1~~0 1					~~兼1~~		
		発達障害と特別支援教育	3後		2			~~1~~0				兼1	~~オムニバス~~	教職課程認定における委員会の指摘により、担当者1名取下・単独開講に変更(25)
		小計(8科目)	—	0	15	0	~~2~~1 2	~~3~~1 2				兼~~1~~3 1	—	
	幼児教育保育 展開科目	幼児体育	1通		2		1							
		ピアノ	2後		1		1					兼3		
		器楽演習	2前		1		1					兼4		
		リトミック	3前		1							兼1		
		生活	4前		2		1					兼1	オムニバス	
		小計(5科目)	—	0	7	0	3					兼6	—	
		保育内容総論	1後		2			1						
		保育内容(健康)	2前		2		1							教職課程認定における委員会の指摘により、科目名称を変更(25)
		保育内容(人間関係)	2前		2		~~1~~0	1				兼1	オムニバス	教職課程認定における委員会の指摘により、オムニバス開講に変更・担当者の変更(25) 担当 齋藤崇(准教授)・(宇田川久美子)
		保育内容(環境)	2後		2		1							
		保育内容(言葉)	2後		2		1					兼1	オムニバス	教職課程認定における委員会の指摘により、オムニバス開講に変更・担当者の追加(25) (齋藤正典)
		保育内容(表現)	2前		2							兼1		
		小計(6科目)	—	0	12	0	3 2	1				兼~~1~~3	—	
		児童文化	2後		1		1	1					オムニバス	
		相談援助	3前		1			~~1~~0 1				~~兼1~~		短大は廃止予定であり、学生が在学する間、短大所属専任教員としたため、当学部専任教員としての発令を留保(平成26年4月専任教員発令予定)(25) 平成26年4月専任教員として発令(26)
		障がい児保育	2前		2							兼1		
		病児・病後児保育	4前		2							兼1		
		幼児理解とカウンセリング	3前		2			1						
		小計(5科目)	—	0	8	0	1	~~2~~1 2				兼~~2~~3 2	—	
	教育の基礎	教育原理	1前		2		~~1~~0	1		~~1~~0				教職課程認定における委員会の指摘により、担当者変更(25) 担当 開 芳(助教)助教から准教授に1名昇任のため(27)
		保育原理	1前		2			1						
		教育の方法と技術(メディア教育を含む)	2後		2		2						オムニバス	
		教育の制度と経営	3後		2			1		~~1~~0				助教から准教授に1名昇任のため(27)
		教師論	1前		2		1							
		発達心理学	3後		2							兼1		
		人権教育	4前		2		1							
		小計(7科目)	—	0	14	0	3	~~1~~2		~~1~~0		兼1	—	
	教育の内容の教科	初等国語(書写を含む)	2後		2		1							
		初等算数	1前		2		1							
		初等音楽	1通		2		1					兼4		
		初等図画工作	3通		2							兼1		
		小計(4科目)	—	0	8	0	3					兼5	—	
	教育及び保育の内容と方法に関する基礎	保育の心理学Ⅰ	3後		2							兼1		
		保育の心理学Ⅱ	4前		1							兼1		
		子どもの保健ⅠA	1後		2		1							
		子どもの保健ⅠB	2後		2		1							
		子どもの保健Ⅱ	4後		1		1							
		子どもの食と栄養	3通		2							兼1		
		小計(6科目)	—	0	10	0	1					兼2	—	
	教育及び保育の内容と方法に関する実践	保育内容総論演習	3後		1			1						
		保育内容演習(健康)	3前		1		1							
		保育内容演習(人間関係)	3前		1		~~1~~0	1				兼1	オムニバス	教職課程認定における委員会の指摘により、オムニバス開講に変更・担当者の変更(25) 担当 齋藤崇(准教授)・(宇田川久美子)
		保育内容演習(環境)	3後		1		1							
		保育内容演習(言葉)	3後		1		1					兼1	オムニバス	教職課程認定における委員会の指摘により、担当者の追加・オムニバス開講に変更(25) 担当(齋藤正典)
		保育内容演習(表現)	3前		1							兼1		
		小計(6科目)	—	0	6	0	3 2	1				兼~~1~~3	—	
		乳児保育	3通		2		1							
		障がい児保育演習	4通		2							兼1		
		社会的養護内容	4前		1		~~1~~0 1					~~兼1~~		短大は廃止予定であり、学生が在学する間、短大所属専任教員としたため、当学部専任教員としての発令を留保(平成26年4月専任教員発令予定)(25) 平成26年4月専任教員として発令(26)
		保育相談支援	3前		1			~~1~~0 1				~~兼1~~		
		小計(4科目)	—	0	6	0	~~2~~1 2	~~1~~0 1				兼~~1~~3 1	—	
	保育実習	保育実習Ⅰ①	3後		2		~~1~~0 1					~~兼1~~	集中	短大は廃止予定であり、学生が在学する間、短大所属専任教員としたため、当学部専任教員としての発令を留保(平成26年4月専任教員発令予定)(25) 平成26年4月専任教員として発令(26)
		保育実習Ⅰ②	3後		2			~~1~~0 1				~~兼1~~	集中	
		保育実習指導Ⅰ	3通		2		~~1~~0 1	~~1~~0 1				兼~~2~~0	オムニバス	
		小計(3科目)	—	0	6	0	~~1~~0 1	~~1~~0 1				~~兼2~~	—	
		保育実習Ⅱ	4後		2		~~1~~0 1					~~兼1~~	集中	短大は廃止予定であり、学生が在学する間、短大所属専任教員としたため、当学部専任教員としての発令を留保(平成26年4月専任教員発令予定)(25) 平成26年4月専任教員として発令(26)
		保育実習Ⅲ	4後		2			~~1~~0 1				~~兼1~~	集中	
		小計(2科目)	—	0	4	0	~~1~~0	~~1~~0				~~兼2~~	—	
		保育実習指導Ⅱ	4後		1		~~1~~0 1					~~兼1~~	集中	短大は廃止予定であり、学生が在学する間、短大所属専任教員としたため、当学部専任教員としての発令を留保(平成26年4月専任教員発令予定)(25) 平成26年4月専任教員として発令(26)
		保育実習指導Ⅲ	4後		1			~~1~~0 1				~~兼1~~	集中	
		小計(2科目)	—	0	2	0	~~1~~0 1	~~1~~0 1				~~兼2~~	—	
	総合演習	保育・教職実践演習(幼稚園)	4後		2		~~3~~2 3	1				~~兼1~~	オムニバス	短大は廃止予定であり、学生が在学する間、短大所属専任教員としたため、当学部専任教員としての発令を留保(平成26年4月専任教員発令予定)(25) 平成26年4月専任教員として発令(26)
		小計(1科目)	—	0	2	0	~~3~~2 3	1				~~兼1~~	—	

幼児教育保育コース 自由科目	教育実習	教育実習指導Ⅰ	3前			1		1					
		教育実習Ⅰ(幼稚園)	3後			1		1				集中	
		教育実習指導Ⅱ	4前			1	1						
		教育実習Ⅱ(幼稚園)	4前			3	1					集中	
		小計(4科目)	－	0	0	6	1	1				－	
	自由科目	在宅保育論	4前			2	~~3~~2 3	~~1~~ 0 1				兼2 オムニバス	短大は廃止予定であり、学生が在学する間、短大所属専任教員としたため、当学部専任教員としての発令を留保(平成30年4月専任教員発令予定)(25) 平成30年4月専任教員として発令(26)
		小計(1科目)	－	0	0	~~6~~ 2	~~3~~ 2 3	~~1~~ 0 1				兼2 －	自由科目小計は届出時の小計表記の誤り(25)
合計(~~174~~ 177科目)			－	~~35~~ 41	235	~~40~~ 36	~~13 14 10 30~~ 21	~~13 3 11~~ 10		~~4~~ 2 3 2		兼21 ~~42 44 45~~ 44	自由科目合計は届出時の小計表記の誤りを訂正したことにより、帳加算分を減じた。(25)

学士又は称号	学士(児童スポーツ教育学)	学位又は学科の分野	体育関係、教育学・保育学関係

卒業要件及び履修方法	授業期間等
＜学部共通＞の【言語コミュニケーション科目】から必修科目4単位、【教養科目】から選択科目10単位以上、【総合科目】から必修科目3単位、【基軸科目】から必修科目8単位、小計25単位以上修得し、 ＜学科共通＞の【基幹科目】の一つめの区分から必修科目~~16~~ 10単位、二つめの区分から6単位、~~二つめ~~ 三つめの区分から~~2~~ 8単位以上(必修~~1~~ 4科目分を含む)、【スポーツ実技科目】の一つめの区分から必修科目2単位、二つめの区分から選択科目3単位以上、小計~~23~~ 29単位以上修得し、学部共通科目及び学科共通科目あわせて~~48~~ 54単位を修得するほか、次の2つのコースのいずれかから84単位以上を修得し、学部共通及び学科共通と合わせて~~132~~ 138単位以上修得すること。	1学年の学期区分 2学期
＜児童スポーツ教育コース＞の【教育の基礎】の一つめの区分から10単位以上(必修5科目分を含む。)、2つめの区分から12単位以上(必修6科目分を含む。)、【教育の教科の内容及び指導法】の一つめの区分から4単位以上、二つめの区分から6単位以上、三つめの区分から4単位以上、四つめの区分から9科目18単位、五つめの区分から2単位以上、~~【基幹科目】~~【児童スポーツ教育科目】の一つめの区分から必修科目22単位、~~【展開科目】~~二つめの区分から6単位以上、~~【教育の基礎】の一つめの区分から10単位以上(必修4科目分を含む。)、2つめの区分から12単位以上(必修6科目分を含む。)、【教育の教科の内容及び指導法】の一つめの区分から4単位以上、二つめの区分から6単位以上、三つめの区分から4単位以上、四つめの区分から9科目18単位、五つめの区分から2単位。~~合わせて84単位以上を修得すること。(履修単位の年間登録の上限:40単位(年間))	1学期の授業時間 15週
＜幼児教育保育コース＞の【基幹科目】から8科目15単位、【展開科目】の一つめの区分から4単位以上(必修科目1科目分含む。)、二つめの区分から6科目12単位、三つめの区分から4単位以上(必修科目1科目含む。)、【教育の基礎】から10単位以上(必修科目4 5科目分含む。)、【教育の教科の内容】から6単位以上、【教育及び保育の内容と方法に関する基礎】から6科目10単位、【教育及び保育の内容と方法に関する実践】の一つめの区分から6科目6単位、二つめの区分から4科目6単位、【保育実習】の一つめの区分から3科目6単位、二つめの区分から2単位以上、三つめの区分から1単位以上、【総合演習】の1科目2単位、合わせて84単位を修得すること。(履修単位の年間登録の上限:40単位(年間))	1時限の授業時間 90分

備考について

この表中の備考欄の記述における「短大」とは、同一法人が設置する「日本体育学部女子短期大学部（平成25年度募集停止）」を表す。

同記述のとおり、児童スポーツ教育学部開設年度に併せて、日本体育大学女子短期大学部(各科)専任教員から児童スポーツ教育学部専任教員として発令する予定を変更し、同短期大学部に学生が在学する間、その教育の質と教育体制を十分に確保するため、引き続き日本体育大学女子短期大学部の専任教員として勤務し、児童スポーツ教育学部における担当授業科目は非常勤講師（兼任教員）として担当させることとした。

よって、「専任教員等の配置」の欄における人数記載について、専任教員としての人数から兼任教員への人数に振り替えることとなった。

（注）・ 認可申請書の様式第２号（その２の１）に準じて作成してください。
・ 設置認可時の授業科目全て（兼任，兼担教員が担当する科目を含む。）を黒字で記載してください。その上で，前年度報告時（平成２７年度に認可された大学等は設置認可時）より変更されているものは赤字見え消し修正し，「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
なお，昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については，見え消しのまま黒字にしてください。
・ 兼任，兼担の教員が担当する授業科目については，備考欄に担当する教員数を「兼○」と記入してください。
・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で，専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては，「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。（今後審査を受ける場合には，「平成○年○月　提出予定」と記入してください。）
・ 「配当年次」について，設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等（平成１９年度認可以前）についても，設置認可時の状況を黒字で記入してください。また，前年度報告時より修正があれば，赤字で見え消し修正をしてください。
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

（２） 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 22	科目 131	科目 21	科目 174	科目 25 [3]	科目 131 [0]	科目 21 [0]	科目 177 [3]	

（注）・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに，［ ］内に，届出時の計画からの増減を記入してください。（記入例：１科目減の場合：△１）
・ 資格に関する課程など，別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

（3） 未開講科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

（注）・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。
・ 教職大学院の場合は，「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

（4） 廃止科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

（注）・ 設置時の計画にあり，何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 教職大学院の場合は，「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

（5） 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

（注）・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

（6） 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} \quad \frac{0}{174} = \boxed{0.00}$$

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て，小数点以下第２位までを記入してください。

３　施設・設備の整備状況，経費

区分		内容				備考
(1) 校地等	区分	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	
	校舎敷地	128,229.52㎡ ~~126,951.32㎡~~	㎡	㎡	128,229.52㎡ ~~126,951.32㎡~~	大学全体 寄宿舎敷地の収益事業財産移行のため、その他から3,923㎡減(28) 横浜・健志台キャンパス９号館（保健医療学部棟）建設：運動場用地から校舎敷地に1,278.20㎡移動(27) 和泉寮建設：その他から運動場用地に2417.00㎡移動(27) 横浜寮及び健志台ゲストハウス建設：その他3,444.99㎡増(27) 和泉寮の合筆登記：その他3㎡増(27) 横浜・健志台キャンパスの一部の合筆登記：運動場用地1㎡増(27) 平成25年2月、菅平実習場の一部を長野県上田市に道路用地として提出したため416㎡の減（25）
	運動場用地	81,228.24㎡ ~~80,088.44㎡~~	㎡	㎡	81,228.24㎡ ~~80,088.44㎡~~	
	小計	209,457.76㎡ ~~207,039.76㎡~~	㎡	㎡	209,457.76㎡ ~~207,039.76㎡~~	
	その他	56,867.13㎡ ~~60,790.13㎡~~ ~~59,759.14㎡~~ ~~60,175.14㎡~~	㎡	㎡	56,867.13㎡ ~~60,790.13㎡~~ ~~59,759.14㎡~~ ~~60,175.14㎡~~	
	合計	266,324.89㎡ ~~270,247.89㎡~~ ~~266,798.90㎡~~ ~~267,214.90㎡~~	㎡	㎡	266,324.89㎡ ~~270,247.89㎡~~ ~~266,798.90㎡~~ ~~267,214.90㎡~~	
(2) 校舎		専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体 横浜・健志台キャンパス保健医療学部キュアセンター開設に伴い校舎から176.83㎡減(28) 横浜・健志台キャンパス９号館（保健医療学部棟）登記時面積変更により37.11㎡減(27) 横浜・健志台キャンパス９号館（保健医療学部棟）建設（平成26年3月竣工）により4,557.41㎡増(26) 用途変更のため31.11㎡の減(25)
		62,587.26㎡ ~~62,764.09㎡~~ ~~62,801.20㎡~~ ~~58,243.79㎡~~ ~~58,274.90㎡~~	㎡	㎡	62,587.26㎡ ~~62,764.09㎡~~ ~~62,801.20㎡~~ ~~58,243.79㎡~~ ~~58,274.90㎡~~	
		62,587.26㎡ ~~62,764.09㎡~~ ~~62,801.20㎡~~ ~~58,243.79㎡~~ ~~58,274.90㎡~~	（　　㎡）	（　　㎡）	62,587.26㎡ ~~62,764.09㎡~~ ~~62,801.20㎡~~ ~~58,243.79㎡~~ ~~58,274.90㎡~~	

(3) 教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設
	43室	42室	36室	3室 （補助職員　1人）	0室 （補助職員　1人）

(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称	室数
	児童スポーツ教育学部	32　室

(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図書 ［うち外国書］ 冊	学術雑誌 ［うち外国書］ 種	電子ジャーナル ［うち外国書］	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点	備考
	児童スポーツ教育学部	37,160〔2,760〕 (39,172〔3,189〕) ~~(37,447〔2,898〕)~~ ~~(35,950〔2,600〕)~~ (~~35,000~~〔2,600〕)	683〔135〕 (683〔135〕)	21〔21〕 (21〔21〕)	900 (900)	889 906 ~~893~~ 840 ~~(789)~~	5 (5)	大学全体での共用分 図書 (501,503[140,621]) ~~494,103[137,284]~~ 485,744[125,470] ~~405,840[89,240]~~ ~~(380,460[86,360])~~ (372,000[85,400]) 学術雑誌 6,943[1,368] ~~6,933[1,366]~~ ~~6,910[1,364]~~ ~~5,833〔1,165〕~~ (5,833〔1,165〕) 電子ジャーナル 10,065[8,346] ~~9,850[8,223]~~ 8,885[7,461] ~~110〔110〕~~ (110〔110〕) 視聴覚資料 54,100 (52,600) ~~(52,100)~~ 保健医療学部の設置による増(26) 図書は、教育研究充実のため増加(27) 機械・器具は、教育研究充実のため増加(27) 機械・器具は、教育研究充実のため増加(28) 図書は、教育研究充実のため増加(28)
	計	37,160〔2,760〕 (39,172〔3,189〕) ~~(37,447〔2,898〕)~~ ~~(35,950〔2,600〕)~~ (~~35,000~~〔2,600〕)	683〔135〕 (683〔135〕)	21〔21〕 (21〔21〕)	900 (900)	889 906 ~~893~~ 840 ~~(789)~~	5 (5)	

(6) 図書館	面積	閲覧座席数	収納可能冊数	備考
	3,128㎡ ~~2,856㎡~~	640 ~~570~~	563,577 ~~562,000~~ ~~557,000~~	大学全体 保健医療学部の設置による272㎡、70席、5,000冊増(26) 書架増設のため1577冊増(28)

(7) 体育館	面積	体育館以外のスポーツ施設の概要	備考
	42,796.15㎡ ~~42,642.67㎡~~	屋外温水プール、アーチェリー場、ゴルフ練習場	大学全体 保健医療学部の設置による48.7㎡増(26) 弓道場面積再計算による48.7㎡修正増(25)

(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区分	開設年度	完成年度	区分	開設前年度	開設年度	完成年度
経費の見積り	教員１人当り研究費等	750千円	750千円	図書購入費	22,500千円	18,000千円	18,000千円
	共同研究費等	10,000千円	10,000千円	設備購入費	70,000千円	5,000千円	5,000千円

学生１人当り納付金	第１年次	第２年次	第３年次	第４年次	第５年次	第６年次
	1,410千円	1,110千円	1,110千円	1,110千円	－　千円	－　千円

学生納付金以外の維持方法の概要	私立大学等経常費補助金等

図書費には電子ジャーナル、データベースの設備費（運用コスト含む）を含む

（注）・　設置時の計画を，申請書の様式第２号（その１の１）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合，複数の様式に分ける必要はありません。なお，「（１）校地等」及び「（２）校舎」は大学全体の数字を，その他の項目はＡＣ対象学部等の数値を記入してください。）

・　運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は，その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。

・　「(5)図書・設備」については，上段に完成年度の予定数値を，下段には平成２７年５月１日現在の数値を記入してください。

・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては，変更部分を赤字で見え消し修正するとともに，その理由及び報告年度「（28）」を「備考」に赤字で記入してください。

なお，昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については，見え消しのまま黒字にしてください。

・　校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少，建築計画の遅延）がある場合には，「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

4　既設大学等の状況

大学の名称	○○大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍			
体育学部									
体育学科	4	750	—	2610	学士（体育学）	1.17	昭和24年度	東京都世田谷区深沢七丁目1番1号	平成28年度収容定員増
健康学科	4	195	—	675	学士（体育学）	1.16	昭和37年度		平成28年度収容定員増
武道学科	4	120	—	480	学士（体育学）	1.21	昭和40年度	神奈川県横浜市青葉区鴨志田町1221番地1	
社会体育学科	4	195	—	675	学士（体育学）	1.16	昭和50年度		平成28年度収容定員増
児童スポーツ教育学部									
児童スポーツ教育学科									
児童スポーツ教育コース	4	150	—	600	学士（児童スポーツ教育学）	1.03	平成25年度	東京都世田谷区深沢七丁目1番1号	
幼児教育保育コース	4	50	—	200	学士（児童スポーツ教育学）	1.02	平成25年度	同上	
保健医療学部									
整復医療学科	4	90	—	360	学士（整復医療学）	1.10	平成26年度	神奈川県横浜市青葉区鴨志田町1221番地1	
救急医療学科	4	80	—	320	学士（救急医療学）	1.07	平成26年度	同上	

大学の名称	日本体育大学大学院								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍			
体育科学研究科									
体育科学専攻（博士前期課程）	2	25	—	50	修士（体育科学）	1.60	昭和50年度	東京都世田谷区深沢七丁目1番1号	
体育科学専攻（博士後期課程）	3	6	—	18	博士（体育科学）	1.77	平成9年度	同上	

（注）・本調査の対象となっている大学等の設置者（学校法人等）が設置している全ての大学（学部，学科），大学院（専攻）及び短期大学（学科）（ＡＣ対象学部等含む）について，それぞれの学校種ごとに，平成２８年５月１日現在の上記項目の情報を記入してください。

・学部の学科または研究科の専攻等，「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。

※「入学定員を定めている組織ごと」には，課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。

※なお，課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は，法令上規定されている組織上の最小単位（大学であれば「学科」，短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。

・専攻科に係るものについては，記入する必要はありません。

・ＡＣ対象学部等についても必ず記入してください。

・「平均入学定員超過率」には，標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第２位まで（小数点以下第３位を切り捨て）を記入してください。

・学生募集を停止している学部等がある場合，入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「ー」とし，「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5　教員組織の状況

＜児童スポーツ教育学部　児童スポーツ教育学科＞

（1）担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	~~高橋　健夫（69）~~	~~平成25年4月~~	~~児童ｽﾎﾟｰﾂ教育論※~~ ~~初等体育科教育法※~~ ~~児童ｽﾎﾟｰﾂ教育研究Ⅰ~~ ~~児童ｽﾎﾟｰﾂ教育研究Ⅱ~~						平成25年7月 高橋健夫教授 死亡のため退職(26)、ｵﾑﾆﾊﾞｽを単独担当に変更(26) 平成25年7月 高橋健夫教授 死亡のため退職(26)
専	教授	西條　修光（68）	平成26年4月	ｽﾎﾟｰﾂ心理学 児童ｽﾎﾟｰﾂ教育研究Ⅰ 児童ｽﾎﾟｰﾂ教育研究Ⅱ						
専	教授	坂井　元（68）	平成25年4月	基礎ｾﾞﾐﾅｰﾙⅠ	専兼任					短大は廃止予定であり、学生が在学する間、短大所属専任教員としたため、当学部専任教員としての発令を留保(平成26年4月専任教員発令予定)(25) 平成26年4月専任教員発令(26)
				~~子どもと人間関係~~	専	准教授	齊藤　崇（42）	平成25年4月	保育内容(人間関係)※	教職課程認定における委員会の指摘により科目名変更、担当者変更(ｵﾑﾆﾊﾞｽ)(25)
					兼任	講師	宇田川 久美子（49）	平成26年4月		
				教育・保育課程論※ 児童ｽﾎﾟｰﾂ教育研究Ⅰ 保育実習指導Ⅰ※ 社会的養護	専兼任					短大は廃止予定であり、学生が在学する間、短大所属専任教員としたため、当学部専任教員としての発令を留保(平成26年4月専任教員発令予定)(25) 平成26年4月専任教員発令(26)
				~~保育内容演習(人間関係)~~	専	准教授	齊藤　崇（42）	平成25年4月	保育内容演習(人間関係)※	教職課程認定における委員会の指摘により担当者変更(ｵﾑﾆﾊﾞｽ)(25)
					兼任	講師	宇田川 久美子（49）	平成26年4月		
				保育実習Ⅰ① 児童ｽﾎﾟｰﾂ教育研究Ⅱ	専兼任					短大は廃止予定であり、学生が在学する間、短大所属専任教員としたため、当学部専任教員としての発令を留保(平成26年4月専任教員発令予定)(25) 平成26年4月専任教員発令(26)
				~~人間関係指導法~~	専兼任				保育内容(人間関係)指導法	短大は廃止予定であり、学生が在学する間、短大所属専任教員としたため、当学部専任教員としての発令を留保(平成26年4月専任教員発令予定)、教職課程認定における委員会の指摘により科目名変更(25) 平成26年4月専任教員発令(26)
				家庭支援論 社会的養護内容 保育実習Ⅱ 保育実習指導Ⅱ 在宅保育論※ 保育・教職実践演習(幼稚園)※	専兼任					短大は廃止予定であり、学生が在学する間、短大所属専任教員としたため、当学部専任教員としての発令を留保(平成26年4月専任教員発令予定)(25) 平成26年4月専任教員発令(26)
専	教授	岩佐　克彦（67）	平成25年4月	基礎ｾﾞﾐﾅｰﾙⅠ 変貌する社会と人間生活 教育の方法と技術(ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞを含む)※ 児童ｽﾎﾟｰﾂ教育研究Ⅰ 児童ｽﾎﾟｰﾂ教育研究Ⅱ						
専	教授	阿部　茂明（66）	平成27年4月	児童ｽﾎﾟｰﾂ教育研究Ⅰ 児童の体つくりと動きつくり※ 教育実習指導Ⅰ※ 教育実習Ⅰ(小学校) 児童ｽﾎﾟｰﾂ教育研究Ⅱ						
専	教授	森　徹（65）	平成25年4月	~~教育原理~~	専	助教	関　芽（36）	平成25年4月	教育原理	教職課程認定における委員会の指摘により担当者変更(25)
				教師論 特別活動の指導法 児童ｽﾎﾟｰﾂ教育研究Ⅰ 児童ｽﾎﾟｰﾂ教育研究Ⅱ 教育実習Ⅱ(小学校) 人権教育 教育実習指導Ⅱ※						
				~~教職実践演習(小学校)※~~					教職実践演習(幼稚園・小学校)※	教職課程認定における委員会の指摘により科目名変更(25)

専	教授	森嶋　昭伸 (64)	平成26年4月	教育課程論	兼任	講師	藤原　文雄 (46)	平成26年4月	教育課程論	教職課程認定における委員会の指摘により担当者変更(25)
				児童ｽﾎﾟｰﾂ教育研究Ⅰ 生徒指導論(進路指導を含む) 児童ｽﾎﾟｰﾂ教育研究Ⅱ 教育実習Ⅱ(小学校) 教育実習指導Ⅱ※						
				教職実践演習(小学校)※					教職実践演習(幼稚園・小学校)※	教職課程認定における委員会の指摘により科目名変更(25)
									学校教育論※	教職課程認定における委員会の指摘により科目追加(ｵﾑﾆﾊﾞｽ)(25)
専	教授	角屋　重樹 (63)	平成25年4月	初等理科 初等理科教育法 児童ｽﾎﾟｰﾂ教育研究Ⅰ 初等生活※ 初等生活科教育法※ 児童ｽﾎﾟｰﾂ教育研究Ⅱ						
				理科教育実践演習					理科教育実践論	教職課程認定における委員会の指摘により科目名変更(25)
									教材・教具論※	教職課程認定における委員会の指摘により科目追加(ｵﾑﾆﾊﾞｽ)(25)
専	教授	細川　節子 (63)	平成25年4月	初等音楽 器楽演習 ﾋﾟｱﾉ 児童ｽﾎﾟｰﾂ教育研究Ⅰ 児童ｽﾎﾟｰﾂ教育研究Ⅱ						
専	教授	村本　和世 (63)	平成25年4月	基礎ｾﾞﾐﾅｰﾙⅠ 児童ｽﾎﾟｰﾂ教育演習※ 初等体育B(対人・集団ｽﾎﾟｰﾂ)※ 児童ｽﾎﾟｰﾂ教育研究Ⅰ 児童ｽﾎﾟｰﾂ教育研究Ⅱ	専兼任					短大は廃止予定であり、学生が在学する間、短大所属専任教員としたため、当学部専任教員としての発令を留保(平成26年4月専任教員発令予定)(25) 平成26年4月専任教員発令(26)
専	教授 (学部長)	久保　健 (62)	平成25年4月	野外活動実習 身体とｽﾎﾟｰﾂの文化論 初等体育C(子どもの運動遊び)※ 児童ｽﾎﾟｰﾂ指導論※						
				初等体育科教育法※					初等体育科教育法	平成25年7月 ｵﾑﾆﾊﾞｽ担当高橋健夫教授死亡退職のため、単独担当に変更(26)
				児童ｽﾎﾟｰﾂ教育研究Ⅰ 児童の体つくりと動きつくり※ 教育実習指導Ⅰ※ 教育実習Ⅰ(小学校) 児童ｽﾎﾟｰﾂ教育研究Ⅱ 教育実習Ⅱ(小学校)						
				体育科教育実践演習※					体育科教育実践論※	教職課程認定における委員会の指摘により科目名変更(25)
				教育実習指導Ⅱ※						
				教職実践演習(小学校)※					教職実践演習(幼稚園・小学校)※	教職課程認定における委員会の指摘により科目名変更(25)
専	教授	島田　功 (62)	平成25年4月	初等算数 基礎ｾﾞﾐﾅｰﾙⅡ(ｱｶﾃﾞﾐｯｸﾘﾃﾗｼｰ)※ 児童ｽﾎﾟｰﾂ教育研究Ⅰ 初等算数科教育法 児童ｽﾎﾟｰﾂ教育研究Ⅱ						
				算数科教育実践演習					算数科教育実践論	教職課程認定における委員会の指摘により科目名変更(25)
									教材・教具論※	教職課程認定における委員会の指摘により科目追加(ｵﾑﾆﾊﾞｽ)(25)

専	教授	時本 久美子 (62)	平成25年4月	幼児体育						
				児童ｽﾎﾟｰﾂ教育演習※						
				~~子どもと健康~~					保育内容(健康)	教職課程認定における委員会の指摘により科目名変更(25)
				子どもの運動遊び						
				~~子どもと環境~~					保育内容(環境)	教職課程認定における委員会の指摘により科目名変更(25)
				児童文化※ 児童ｽﾎﾟｰﾂ教育研究Ⅰ 保育内容演習(健康) 保育内容演習(環境) 児童ｽﾎﾟｰﾂ教育研究Ⅱ						
				健康指導法					保育内容(健康)指導法	教職課程認定における委員会の指摘により科目名変更(25)
				在宅保育論※						
				環境指導法					保育内容(環境)指導法	教職課程認定における委員会の指摘により科目名変更(25)
				保育・教職実践演習(幼稚園)※						
専	教授	Susan. L. Miller (58)	平成25年4月	基礎英語Ⅰ 基礎英語Ⅱ 英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ 児童ｽﾎﾟｰﾂ教育研究Ⅰ 児童ｽﾎﾟｰﾂ教育研究Ⅱ	専 兼任					短大は廃止予定であり、学生が在学する間、短大所属専任教員としたため、当学部専任教員としての発令を留保(平成26年4月専任教員発令予定)(25) 平成26年4月専任教員発令(26)
専	教授	奥泉(岩本) 香 (53)	平成25年4月	基礎ｾﾞﾐﾅｰﾙⅡ(ﾌｧｶﾃﾞﾐｯｸﾘﾃﾗｼｰ)※ 教育の方法と技術(ｲﾅﾃｨﾌ教育を含む)※						
				初等国語(書写を含む)	兼任	講師	荒井 一浩 (52)	平成26年4月	初等国語(書写を含む)※	教職課程認定における委員会の指摘により担当者追加(ｵﾑﾆﾊﾞｽ)(25)
				~~子どもと言葉~~	兼任	講師	齋藤 正典 (48)	平成26年4月	保育内容(言葉)※	教職課程認定における委員会の指摘により科目名変更、担当者追加(ｵﾑﾆﾊﾞｽ)(25)
				児童ｽﾎﾟｰﾂ教育研究Ⅰ						
				初等国語科教育法	兼任	講師	荒井 一浩 (52)	平成26年4月	初等国語科教育法※	教職課程認定における委員会の指摘により担当者追加(ｵﾑﾆﾊﾞｽ)(25)
				保育内容演習(言葉)	兼任	講師	齋藤 正典 (48)	平成26年4月	保育内容演習(言葉)※	教職課程認定における委員会の指摘により担当者追加(ｵﾑﾆﾊﾞｽ)(25)
				児童ｽﾎﾟｰﾂ教育研究Ⅱ						
				教育実習Ⅱ(幼稚園)						
				国語科教育実践演習	兼任	講師	荒井 一浩 (52)	平成26年4月	国語科教育実践論※	教職課程認定における委員会の指摘により科目名変更、担当者追加(ｵﾑﾆﾊﾞｽ)(25)
				教育実習指導Ⅱ※						
				言葉指導法	兼任	講師	齋藤 正典 (48)	平成26年4月	保育内容(言葉)指導法※	教職課程認定における委員会の指摘により科目名変更、担当者追加(ｵﾑﾆﾊﾞｽ)(25)
				保育・教職実践演習(幼稚園)※						
									教材・教具論※	教職課程認定における委員会の指摘により科目追加(ｵﾑﾆﾊﾞｽ)(25)
専	教授	岡本 美和子 (52)	平成25年4月	児童の身体の仕組み※ 子どもの保健ⅠA 児童ｽﾎﾟｰﾂ教育演習※ 子どもの保健ⅠB 児童ｽﾎﾟｰﾂ教育研究Ⅰ 乳児保育 児童ｽﾎﾟｰﾂ教育研究Ⅱ 生活※ 在宅保育論※ 子どもの保健Ⅱ						
									現代子ども論※	教職課程認定における委員会の指摘により科目追加(ｵﾑﾆﾊﾞｽ)(25)
専	教授	~~二井 正浩~~ ~~(50)~~	~~平成25年4月~~	初等社会	専	教授	猪瀬 武則 (58)	平成25年4月	初等社会	平成24年7月教授就任辞退のため、平成24年9月担当者変更(25)
				児童ｽﾎﾟｰﾂ教育研究Ⅰ	専	教授	猪瀬 武則 (58)	平成25年4月	児童ｽﾎﾟｰﾂ教育研究Ⅰ	平成24年7月教授就任辞退のため、平成24年9月担当者変更(25)
				初等生活※	専	教授	猪瀬 武則 (58)	平成25年4月	初等生活※	平成24年7月教授就任辞退のため、平成24年9月担当者変更(25)
				初等社会科教育法	専	教授	猪瀬 武則 (58)	平成25年4月	初等社会科教育法	平成24年7月教授就任辞退のため、平成24年9月担当者変更(25)
				初等生活科教育法※	専	教授	猪瀬 武則 (58)	平成25年4月	初等生活科教育法※	平成24年7月教授就任辞退のため、平成24年9月担当者変更(25)
				児童ｽﾎﾟｰﾂ教育研究Ⅱ	専	教授	猪瀬 武則 (58)	平成25年4月	児童ｽﾎﾟｰﾂ教育研究Ⅱ	平成24年7月教授就任辞退のため、平成24年9月担当者変更(25)
				社会科教育実践演習	専	教授	猪瀬 武則 (58)	平成25年4月	社会科教育実践論	平成24年7月教授就任辞退のため、平成24年9月担当者変更、教職課程認定における委員会の指摘により科目名変更(25)
					専	教授	猪瀬 武則 (58)	平成25年4月	教材・教具論※	教職課程認定における委員会の指摘により科目追加(ｵﾑﾆﾊﾞｽ)(25)

専	准教授	本多　洋実 (57)	平成25年4月	基礎ｾﾞﾐﾅｰﾙⅠ 子ども家庭福祉 社会福祉学 児童ｽﾎﾟｰﾂ教育研究Ⅰ 保育実習指導Ⅰ※ 相談援助 保育相談支援 保育実習Ⅰ② 児童ｽﾎﾟｰﾂ教育研究Ⅱ 在宅保育論※ 保育実習Ⅲ 保育実習指導Ⅲ	専 兼任					短大は廃止予定であり、学生が在学する間、短大所属専任教員としたため、当学部専任教員としての発令を留保(平成26年4月専任教員発令予定)(25) 平成26年4月専任教員発令(26)
専	准教授	笠井 里津子 (54)	平成25年4月	ﾀﾞﾝｽ 初等体育A(個人ｽﾎﾟｰﾂ)※ 児童ｽﾎﾟｰﾂ教育研究Ⅰ 児童ｽﾎﾟｰﾂ教育研究Ⅱ	専 兼任	教授				短大は廃止予定であり、学生が在学する間、短大所属専任教員としたため、当学部専任教員としての発令を留保(平成26年4月専任教員発令予定)、平成25年4月昇任のため(25) 平成26年4月専任教員発令(26)
専	准教授	古川　暁也 (53)	平成25年4月	ﾎﾞｰﾙｹﾞｰﾑ※ 児童ｽﾎﾟｰﾂ教育研究Ⅰ 児童ｽﾎﾟｰﾂ教育研究Ⅱ	専 兼任	教授				短大は廃止予定であり、学生が在学する間、短大所属専任教員としたため、当学部専任教員としての発令を留保(平成26年4月専任教員発令予定)、平成25年4月昇任のため(25) 平成26年4月専任教員発令(26)
専	准教授	別府　健至 (46)	平成25年4月	陸上競技 児童ｽﾎﾟｰﾂｺｰﾁﾝｸﾞ学※ 初等体育A(個人ｽﾎﾟｰﾂ)※ 児童ｽﾎﾟｰﾂ教育研究Ⅰ 児童ｽﾎﾟｰﾂ教育研究Ⅱ	専 兼任					短大は廃止予定であり、学生が在学する間、短大所属専任教員としたため、当学部専任教員としての発令を留保(平成26年4月専任教員発令予定)(25) 平成26年4月専任教員発令(26)
専	准教授	宇部(金子) 弘子 (43)	平成25年4月	基礎ｾﾞﾐﾅｰﾙⅠ	専 兼任					短大は廃止予定であり、学生が在学する間、短大所属専任教員としたため、当学部専任教員としての発令を留保(平成26年4月専任教員発令予定)(25) 平成26年4月専任教員発令(26)
				発達障害と特別支援教育※	兼担	准教授	齋藤　雅英 (47)	平成27年4月	発達障害と特別支援教育	教職課程認定における委員会の指摘により担当者変更(単独担当)(25)
				教育相談(ｶｳﾝｾﾘﾝｸﾞを含む)※	兼担	准教授	齋藤　雅英 (47)	平成27年4月	教育相談(ｶｳﾝｾﾘﾝｸﾞを含む)	教職課程認定における委員会の指摘により担当者変更(単独担当)(25)
				児童ｽﾎﾟｰﾂ教育研究Ⅰ 児童ｽﾎﾟｰﾂ教育研究Ⅱ	専 兼任					短大は廃止予定であり、学生が在学する間、短大所属専任教員としたため、当学部専任教員としての発令を留保(平成26年4月専任教員発令予定)(25) 平成26年4月専任教員発令(26)
									現代子ども論※	教職課程認定における委員会の指摘により科目追加(ｵﾑﾆﾊﾞｽ)(25)
専	准教授	伊藤　雅充 (42)	平成25年4月	基礎ｾﾞﾐﾅｰﾙⅡ(ｱｶﾃﾞﾐｯｸﾘﾃﾗｼｰ)※ 児童ｽﾎﾟｰﾂｺｰﾁﾝｸﾞ学※ 児童ｽﾎﾟｰﾂ教育演習※ ｽﾎﾟｰﾂﾊﾞｲｵﾒｶﾆｸｽ 児童ｽﾎﾟｰﾂ教育研究Ⅰ ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞ実践演習 児童ｽﾎﾟｰﾂ教育研究Ⅱ						
専	准教授	近藤　智靖 (42)	平成25年4月	児童ｽﾎﾟｰﾂ教育論※		教授			児童ｽﾎﾟｰﾂ教育論	平成25年7月 ｵﾑﾆﾊﾞｽ担当高橋健夫教授死亡退職のため、単独担当に変更(26) 平成27年4月昇任のため(27)
				児童ｽﾎﾟｰﾂ指導論※ 児童ｽﾎﾟｰﾂ教育研究Ⅰ						平成27年4月昇任のため(27)
				体育科教育実践演習※					体育科教育実践論※	教職課程認定における委員会の指摘により科目名変更(25) 平成27年4月昇任のため(27)
				児童ｽﾎﾟｰﾂ教育研究Ⅱ						平成27年4月昇任のため(27)
									教材・教具論※	教職課程認定における委員会の指摘により科目追加(ｵﾑﾆﾊﾞｽ)(25) 平成27年4月昇任のため(27)

専	准教授	齊藤　崇 (42)	平成25年4月	保育原理 保育内容総論[児スポ] 児童ｽﾎﾟｰﾂ教育演習※ 教育・保育課程論※ 保育者論 児童文化※ 児童ｽﾎﾟｰﾂ教育研究Ⅰ 幼児理解とｶｳﾝｾﾘﾝｸﾞ 教育実習指導Ⅰ 教育実習Ⅰ(幼稚園) 保育内容総論[幼保] 保育内容総論演習 児童ｽﾎﾟｰﾂ教育研究Ⅱ 幼児理解 保育・教職実践演習(幼稚園)※						
									現代子ども論※	教職課程認定における委員会の指摘により科目追加(ｵﾑﾆﾊﾞｽ)(25)
専	准教授	田邊　勝 (40)	平成25年4月	基礎ｾﾞﾐﾅｰﾙⅠ 初等体育C(子どもの運動遊び)※ 柔道 児童ｽﾎﾟｰﾂ教育研究Ⅰ 児童ｽﾎﾟｰﾂ教育研究Ⅱ	専兼任					短大は廃止予定であり、学生が在学する間、短大所属専任教員としたため、当学部専任教員としての発令を留保(平成26年4月専任教員発令予定)(25) 平成26年4月専任教員発令(26)
専	准教授	畠田　好章 (40)	平成25年4月	器械運動 初等体育A(個人ｽﾎﾟｰﾂ)※ 児童ｽﾎﾟｰﾂ教育研究Ⅰ 児童ｽﾎﾟｰﾂ教育研究Ⅱ	専兼任					短大は廃止予定であり、学生が在学する間、短大所属専任教員としたため、当学部専任教員としての発令を留保(平成26年4月専任教員発令予定)(25) 平成26年4月専任教員発令(26)
専	准教授	須永 美歌子 (39)	平成25年4月	ｽﾎﾟｰﾂ生理学 児童ｽﾎﾟｰﾂ教育演習※ 児童ｽﾎﾟｰﾂﾄﾚｰﾆﾝｸﾞ学 児童ｽﾎﾟｰﾂ教育研究Ⅰ 児童の体つくりと動きつくり※ ｽﾎﾟｰﾂ現場実務論※ 児童ｽﾎﾟｰﾂ教育研究Ⅱ ｽﾎﾟｰﾂ現場実習	専兼任	教授				短大は廃止予定であり、学生が在学する間、短大所属専任教員としたため、当学部専任教員としての発令を留保(平成26年4月専任教員発令予定)(25) 平成26年4月専任教員発令(26) 平成28年4月昇任のため(28)
専	准教授	伊藤 由美子 (35)	平成25年4月	基礎ｾﾞﾐﾅｰﾙⅠ 体つくり運動(体操) 児童ｽﾎﾟｰﾂ教育研究Ⅰ 児童ｽﾎﾟｰﾂ教育研究Ⅱ	専兼任					短大は廃止予定であり、学生が在学する間、短大所属専任教員としたため、当学部専任教員としての発令を留保(平成26年4月専任教員発令予定)(25) 平成26年4月専任教員発令(26)
専	助教	亀山　有希 (40)	平成25年4月	基礎ｾﾞﾐﾅｰﾙⅠ 初等体育C(子どもの運動遊び)※ 児童ｽﾎﾟｰﾂ教育研究Ⅰ ｴｱﾛﾋﾞｯｸｴｸｻｻｲｽﾞ ｽﾎﾟｰﾂ現場実務論※ ｽﾎﾟｰﾂ社会学 児童ｽﾎﾟｰﾂ教育研究Ⅱ 生涯ｽﾎﾟｰﾂ論 ｽﾎﾟｰﾂ現場実習	専兼任	准教授				短大は廃止予定であり、学生が在学する間、短大所属専任教員としたため、当学部専任教員としての発令を留保(平成26年4月専任教員発令予定)、平成25年4月昇任のため(25) 平成26年4月専任教員発令(26)
専	助教	安達　瑞保 (37)	平成25年4月	食育論 ﾗｲﾌｽﾃｰｼﾞ栄養学 児童ｽﾎﾟｰﾂ教育研究Ⅰ 児童ｽﾎﾟｰﾂ教育研究Ⅱ ｽﾎﾟｰﾂ栄養学						
専	助教	木下　佳子 (37)	平成25年4月	ﾎﾞｰﾙｹﾞｰﾑ※ 初等体育B(対人・集団ｽﾎﾟｰﾂ)※ 児童ｽﾎﾟｰﾂ教育研究Ⅰ ｽﾎﾟｰﾂ現場実務論※ 児童ｽﾎﾟｰﾂ教育研究Ⅱ ｽﾎﾟｰﾂ現場実習	専兼任					短大は廃止予定であり、学生が在学する間、短大所属専任教員としたため、当学部専任教員としての発令を留保(平成26年4月専任教員発令予定)(25) 平成26年4月専任教員発令(26)

専	助教	関　芽 (36)	平成25年4月	基礎ｾﾞﾐﾅｰﾙⅡ（ﾌｧｶﾞﾐｯｸﾘﾗｸｼｰ）※		准教授				平成27年4月昇任のため(27)
				道徳教育指導論	専	教授	森　徹 (65)	平成25年4月	道徳教育指導論	教職課程認定における委員会の指摘により担当者変更(25)
				児童ｽﾎﾟｰﾂ教育研究Ⅰ 教育実習指導Ⅰ※ 教育実習Ⅰ（小学校） 教育の制度と経営 児童ｽﾎﾟｰﾂ教育研究Ⅱ		准教授				平成27年4月昇任のため(27)
									学校教育論※	教職課程認定における委員会の指摘により科目追加（ｵﾑﾆﾊﾞｽ）(25) 平成27年4月昇任のため(27)
兼担	教授	黒田　稔 (67)	平成25年4月	こころと行動の科学	兼任	講師 特任 教授		平成26年4月		平成26年4月　任用替え、職名変更(26) 平成28年4月　任用替え、職名変更(28)
兼担	教授	冨田　幸博 (65)	平成28年4月	ｽﾎﾟｰﾂ経営管理学						
兼担	教授	藤田　主一 (62)	平成25年4月	教育心理学 発達心理学						
兼担	教授	田中　信行 (55)	平成27年4月	ｱﾀﾞﾌﾟﾃｯﾄﾞｽﾎﾟｰﾂ論 ｱﾀﾞﾌﾟﾃｯﾄﾞｽﾎﾟｰﾂ実技						
兼担	教授	刑部　久 (54)	平成26年4月	文学と人間						
兼担	准教授	馬場 進一郎 (56)	平成28年4月	ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ						
兼担	准教授	林　忠男 (52)	平成25年4月	情報機器の操作		教授				平成28年4月昇任のため(28)
兼担	准教授	堀尾　哲也 (53)	平成26年4月	生命の科学						
兼担	准教授	河野　徳良 (51)	平成28年4月	救急処置実習（ﾃｰﾋﾟﾝｸﾞを含む）						
兼担	准教授	小泉　和史 (49)	平成28年4月	野外活動論						
兼担	准教授	齋藤　雅英 (48)	平成27年4月	発達障害と特別支援教育※ 保育の心理学Ⅰ 教育相談（ｶｳﾝｾﾘﾝｸﾞを含む）※ 保育の心理学Ⅱ						
兼担	准教授	石上　秀昭 (45)	平成26年4月	経済学から眺める社会						
兼担	准教授	大本　洋嗣 (45)	平成25年4月	水泳						
兼担	准教授	鈴川　一宏 (45)	平成27年4月	衛生学・公衆衛生学		教授				平成25年4月昇任のため(25)
兼担	准教授	津山　薫 (45)	平成26年4月	発育発達論		教授				平成26年4月昇任のため(26)
兼担	准教授	荻　浩三 (44)	平成25年4月	日体大の歴史（日体伝統実習を含む） ｽﾎﾟｰﾂの歴史と本質		教授				平成25年4月昇任のため(25)
兼担	准教授	野井　真吾 (44)	平成25年4月	児童健康教育論 学校保健（小児保健・精神保健を含む）		教授				平成25年4月昇任のため(25)
兼担	准教授	山口　和之 (44)	平成25年4月	基礎英語Ⅰ 基礎英語Ⅱ 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠ 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡ		教授				平成25年4月昇任のため(25)
兼担	准教授	小林　正利 (40)	平成25年4月	児童の身体の仕組み※ ﾍﾙｽﾌﾟﾛﾓｰｼｮﾝ		教授				平成27年4月昇任のため(27)
兼任	講師	川原　民 (66)	平成26年4月	~~子どもと表現~~	兼任	講師	杉本（松原）亜鈴 (37)	平成28年4月	保育内容（表現）	教職課程認定における委員会の指摘により科目名変更、担当者変更(25)
				~~保育内容演習（表現）~~	兼任	講師	杉本（松原）亜鈴 (37)	平成28年4月	保育内容演習（表現）	教職課程認定における委員会の指摘により担当者変更(25)
				~~表現指導法~~	兼任	講師	杉本（松原）亜鈴 (37)	平成28年4月	保育内容（表現）指導法	教職課程認定における委員会の指摘により科目名変更、担当者変更(25)
				生活※				平成28年4月		担当科目削減により就任年月変更(25)
兼任	講師	栗崎　京子 (66)	平成27年4月	子どもの食と栄養						
兼任	講師	櫻井　忠義 (66)	平成28年4月	児童医学	専	教授	櫻井　忠義 (64)	平成26年1月	児童医学	平成25年7月高橋健夫教授死亡退職に伴う、既設体育学部からの移籍教員数補完のため、平成26年1月専任教員として発令(26)
									児童ｽﾎﾟｰﾂ教育研究Ⅰ	平成25年7月高橋健夫教授死亡退職に伴う、既設体育学部からの移籍教員数補完のため、平成26年1月専任教員として発令(26)、担当科目追加(26)
									児童ｽﾎﾟｰﾂ教育研究Ⅱ	
兼任	講師	平本　和博 (66)	平成27年4月	~~初等図画工作科教育法~~	兼任	講師	伊東　信治 (60)	平成27年4月	初等図画工作科教育法	教職課程認定における委員会の指摘により担当者変更(25)
				初等図画工作						
				~~造形指導法~~	兼任	講師	宮林　佳子 (46)	平成28年4月	保育内容（造形表現）指導法	教職課程認定における委員会の指摘により科目名変更、担当者変更(25)
兼任	講師	比嘉　眞人 (63)	平成26年4月	障がい児保育 障がい児保育演習						
兼任	講師	町田　洋子 (63)	平成25年4月	初等音楽 器楽演習						
兼任	講師	鈴木　恵津子 (59)	平成26年4月	初等音楽科教育法 ﾘﾄﾐｯｸ						
兼任	講師	太田 あや子 (57)	平成27年4月	身体と運動の測定評価学						

兼任	講師	筒井　恭子 (55)	平成26年4月	初等家庭科 初等家庭科教育法						
兼任	講師	山地　みどり (53)	平成25年4月	初等音楽 器楽演習 ﾋﾟｱﾉ						
兼任	講師	山崎　英壽 (52)	平成25年4月	現代社会と憲法						
兼任	講師	高坂 久美子 (49)	平成25年4月	初等音楽 器楽演習 ﾋﾟｱﾉ						
兼任	講師	成田　眞 (46)	平成25年4月	初等音楽 器楽演習 ﾋﾟｱﾉ						
兼任	講師	岡光　基子 (45)	平成28年4月	病児･病後児保育						
					~~兼任~~	~~講師~~	~~杉本　和子 (49)~~	~~平成25年4月~~	~~情報機器の操作~~	平成25年4月教育指導体制の充実を図るため担当者の追加(25) 平成28年4月担当者の変更(28)
					兼任	講師	村井　和夫 (64)	平成25年4月	情報機器の操作	平成25年4月教育指導体制の充実を図るため担当者の追加(25)
					兼任	講師	杉沼　春美 (56)	平成25年4月	水泳	平成25年4月教育指導体制の充実を図るため担当者の追加(25)
					兼任	講師	遠藤　大哉 (45)	平成25年4月	水泳	平成25年4月教育指導体制の充実を図るため担当者の追加(25)
					兼任	講師	森田　美雪 (49)	平成25年4月	水泳	平成25年4月教育指導体制の充実を図るため担当者の追加(25)
					~~兼任~~	~~講師~~	~~河田　聖良 (36)~~	~~平成26年9月~~	~~水泳~~	平成26年9月教育指導体制の充実を図るため担当者の追加(27) 平成28年4月担当者の変更(28)
					兼任	講師	中嶋　崇光 (46)	平成28年4月	水泳	平成28年4月担当者の変更(28)

（注）・　申請書の様式第３号（その２の１）に準じて作成してください。
　なお，当該設置に係る学部，学科等に所属しない教員であって，全学共通，学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は，〈○○学部　△△学科〉の箇所を「共通」とし，表を分けて作成してください。
・　後任が決まっていない場合には，「後任未定」と記入してください。
・　辞任者は「備考」に退職年月，氏名，理由を記入してください。
・　年齢は，**「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢**を，**「変更状況」には平成２８年５月１日現在の満年齢**を記入してください。
・　教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合（「新規採用」，「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。）は，変更後の状況を記入するとともに，その理由，後任者が決まっていない場合は，「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し，及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
・　**認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合**は，当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し，大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
・　「専任教員採用等変更書（ＡＣ）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「○年○月教員審査済」，変更書を提出予定の場合は「○年○月変更書提出予定」と記入してください。
　なお，設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は，「備考」に「（教員審査省略）」及びその変更の理由，変更年度（　）書き等のみを記入してください。

（2） 専任教員数等

（2）－① 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教 授	准教授	講 師	助 教	計	教 授	准教授	講 師	助 教	計（A）	教 授	准教授	講 師	助 教	計（B）
17	12	0	4	33	21	10	0	2	33	21	10	0	2	33
(11)	(3)	(0)	(2)	(16)						[4]	[△2]	[0]	[△2]	[0]

（注）・「設置時の計画」には，設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに，（ ）内に開設時の状況を記入してください。
・「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の５月１日の教員数（実人数）を記入してください。
・「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の５月１日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに，［ ］内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）

（2）－② 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記（A））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（B））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65～70 歳	11 名	11 名

（注）・「年齢構成」には，当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません），および，平成２８年５月１日現在，定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
・なお，職位等によって定年年齢が異なる場合には，職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し，「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

（３） 専任教員辞任等の理由

（３）－① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
1	教授	二井 正浩	選択	初等社会	①	本人の家庭の事情によるため(25)
			必修	児童スポーツ教育研究I	①	
			選択	初等生活	①	
			選択	初等社会科教育法	①	
			選択	初等生活科教育法	①	
			必修	児童スポーツ教育研究II	①	
			選択	社会科教育実践論	①	

合計（A）			後任補充状況の集計（B）		
就任を辞退した教員数	担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）
1 人	必修	2 科目	必修 2 科目	必修 0 科目	必修 0 科目
	選択	5 科目	選択 5 科目	選択 0 科目	選択 0 科目
	自由	0 科目	自由 0 科目	自由 0 科目	自由 0 科目
	計	7 科目	計 7 科目	計 0 科目	計 0 科目

（注） ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。
就任した後に辞任した教員は、以下「（３）－②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合，赤字にて記入するとともに，
「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、
「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

（３）－② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
1	教授	髙橋 健夫	必修	児童スポーツ教育論	①	平成25年7月 死亡のため(26)
			選択	初等体育科教育法	①	
			必修	児童スポーツ教育研究I	①	
			必修	児童スポーツ教育研究II	①	

合計（C）			後任補充状況の集計（D）		
辞任した教員数	担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）
1 人	必修	3 科目	必修 3 科目	必修 0 科目	必修 0 科目
	選択	1 科目	選択 1 科目	選択 0 科目	選択 0 科目
	自由	0 科目	自由 0 科目	自由 0 科目	自由 0 科目
	計	4 科目	計 4 科目	計 0 科目	計 0 科目

（注） ・ 一度就任した後に、辞任した全ての専任教員の辞任の理由を具体的に記入してください。
・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合，赤字にて記入するとともに，「辞任等の理由」
に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、
「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

上記（３）－① ・ （３）－② の合計

合計（A）＋（C）			後任補充状況の集計（B）＋（D）		
辞任等した教員数	担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）
2 人	必修	5 科目	必修 5 科目	必修 0 科目	必修 0 科目
	選択	6 科目	選択 6 科目	選択 0 科目	選択 0 科目
	自由	0 科目	自由 0 科目	自由 0 科目	自由 0 科目
	計	11 科目	計 11 科目	計 0 科目	計 0 科目

（注） ・ 就任辞退（未就任）及び辞任した全専任教員について，教員数、担当科目数の合計，後任補充の状況を記入ください。

（4） 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

1. 開設前のため該当なし。(25) 2. オムニバスで開講する予定であった授業科目（「児童ｽﾎﾟｰﾂ教育論」「初等体育科教育法」）については、それぞれ単独での担当としたため、学生への影響はない。学生には口頭及びシラバスにて周知している。(26)

（注）・ 上記（3）の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください

６　留意事項等に対する履行状況等

区　　分	留　意　事　項　等		履　行　状　況	未履行事項についての実施計画
設　置　時 （２５年４月）	該当なし			
設置計画履行状況調　査　時 （２６年２月）	体育学部体育学科の入学定員超過の是正に努めること。	留意事項	平成26年度入学試験を実施し入学者数を746名とした結果、定員超過率は1.20倍となった。これにより、本年度の体育学科の平均入学定員超過率（平成23年度～平成26年度）は、1.28倍となり、前年度（平成22年度～平成25年度）の1.30倍から是正された。 （別添「入学定員超過の状況」参照）	
設置計画履行状況調　査　時 （２７年２月）	該当なし			
設置計画履行状況調　査　時 （２８年２月）	該当なし			

（注）・　「設置時」には，当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）　と，それに対する履行状況等について，具体的に記入し，報告年度を（　　）書きで付記してください。

・　「設置計画履行状況調査時」には，当該設置計画履行状況調査の結果，付された意見に対する履行状況等について，具体的に記入するとともに，その履行状況等を裏付ける資料があれば，添付してください。

・　定員管理に係る留意事項への履行状況は，指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。

・　該当がない場合には，「該当なし」と記入してください。

・　「設置計画履行状況調査時」の（年月）には，調査結果を公表した月（通常２月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7　その他全般的事項

＜児童スポーツ教育学部　児童スポーツ教育学科＞

（1） 設置計画変更事項等

設　置　時　の　計　画	変更内容・状況，今後の見通しなど
①　教員組織 設置時の計画　教授１７名、准教授１２名、助教４名 合計３３名	次年度以降の教育課程の準備のため、今年度授業を 担当しない教員として、２名（准教授１名、助教１名）採用。

（注）・　１～６の項目に記入した事項以外で，設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）
及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
・　設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し，それ以外の事柄については
適宜項目を設けてください。（記入例参照）

（2） 教員の資質の維持向上の方策（ＦＤ活動含む）

①　実施体制

ａ　委員会の設置状況

本学では、大学設置基準第25条の3に基づき、平成18年4月1日から、本学の授業の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究に取り組んでいる。

具体的には、学則第2条第4項に本学のファカルティ・ディベロップメント(FD)として定義するほか、教育理念及び教育目標に基づき、教育活動、教授法及び教員の相互研鑽の支援並びに教育効果などに関して恒常的に検討を行い、教員の資質の向上を図ることを目的として、FD委員会を恒常的に設置している。

FD委員会規程（平成18年3月7日教授会制定）

第1条　委員会規程第2条に基づき、FD(ファカルティ・ディベロップメント)委員会(以下「委員会」という。)を置く。

第2条　委員会は、教育理念及び教育目標に基づき、教育活動、教授法及び教員の相互研鑽の支援並びに教育効果などに関して恒常的に検討を行い、教員の資質の向上を図ることを目的とする。

第3条　委員会は、次の事項について審議し、実施する。

(1)　FDに関する企画及び調査に関する事項

(2)　FDに関する報告書等の作成に関する事項

(3)　その他FDに関する活動を促進するための事項

2　委員会は、前項の事項を審議・実施するにあたり、他の本学委員会に委嘱することができるものとする。

第4条　委員会は、次の号に掲げる者をもって組織し、学長が委嘱する。

(1)　副学長

(2)　体育学部各学科　1名

(3)　児童スポーツ教育学科各コース　1名

(4)　保健医療学部各学科　1名

(5)　学長室長

(6)　企画部長

(7)　企画部課程・評価課長

(8)　その他学長が必要と認めた者　若干名

第5条　必要に応じ委員会に、重要事項を審議するため専門委員会を置くことができる。
第6条　委員会の庶務は、企画部課程・評価課が処理する。
第7条　この規程の改廃は、学部長会の議を経て学長が行う。

附　則

この規程は、平成18年4月1日から施行する。

附　則

この規程は、平成24年4月1日から施行する。

附　則

この規程は、平成25年4月1日から施行する。

附　則

この規程は、平成26年4月1日から施行する。

附　則

この規程は、平成27年4月1日から施行する。

b　委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

平成２７年度は１回のＦＤ委員会が開催された。（第１回７名）

c　委員会の審議事項等

学生による授業評価アンケートの実施について

学生による授業評価アンケートの活用方法について

②　実施状況

a　実施内容

各教員が然るべき資質を備えるべく、相互研鑽意識の発揮と気づきを主たる目的として、授業評価アンケートの個人結果を他者と比較するために、全教員の回答結果の状況を視覚化（グラフ化）して一覧を提供した。

授業評価アンケートの集計結果に基づき、FD委員が中心となり様々な観点で分析し、どのように授業改善をしていくべきなのか等の意見を教員同士で議論する場や授業に関して相談を受ける組織的なアドバイザー制度などの検討や提案をした。また、各教科や授業形式等でアンケートの設問や期間をコントロールできることから、今後どのように活用していくか検討していく。

教育手法の共有や開発により教員の教育力向上を図るための勉強会を実施した。

b　実施方法

「生涯学び続け、どんな環境においても“答のない問題”に最善策を導くことができる能力」を育成するために大学が求められている質の高い学士課程教育には、課題解決型の能動的学習（アクティブラーニング）により、学生の知性を鍛える双方向型の講義、演習、実験、実習や実技を中心とした教育が必要であることから、PBL（Plobrem Based Learning）と、保健医療学部授業内で実施されているクリッカーnano（リアルタイムコミュニケーションが可能な双方向対話型授業・研修支援システム）を利用したTBL（Team Beased Learning）について、事例紹介を含めたFD勉強会を実施した。

また、LMS（Learning Management System）を用いた学修効果向上のための取組みとして、本学で導入したオンライン教育支援システム「n-track」についてFD勉強会を実施した。

c　開催状況（教員の参加状況含む）

第１回ＦＤ勉強会　平成27年6月24日（水）　　教員１６名

「学生の主体的な学びを促すTBL（Team Based Learning）」

第２回ＦＤ勉強会　平成27年12月2日（水）　　教員１４名

「LMS（Learning Management System）を用いた学修効果向上のための取組み」

１）オンライン教育支援システム「n-track」の説明

２）教員によるフリーディスカッション

d　実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

本学の教学支援システム(Webサービス)NSSU PASSPORT<通称n-pass(エヌ・パス)>では、「授業」を切り口とした、担当教員と履修者のＩＣＴホットライン「クラスプロファイル」を有効活用しており、授業評価アンケートや採点、出席管理から授業資料の事前・事後配付、課題配信に至るまで、単位相当の授業管理を行っている。

授業評価アンケート設問に対する回答の状況や履修者から寄せられる意見などから、授業担当教員は、自らの授業方法の改善や修正、また、有効な授業方法の情報提供を行うほか、n-passの運用方法提案や機能修正の要望、さらには有効な使用方法の教授を求めるなど、授業改善と自身のスキルアップに取り組んでいる。

大学が提供する１時限９０分の授業をより効果的に行うため、先ずは、出席者の把握や、資料等の配付、課題の回収にかける時間を除去削減し、授業担当教員が学問の教授に集中できるよう、事務局は授業に係る周辺業務の効率化に積極的に参画している。各教員は、これら効率化の先に授業内容の充実を展開し、大学は、カリキュラム改革、組織の整備改善等に取り組む。

また、ICTを活用した学習支援サービスにあっては、「n-pass」に加えて、平成27年4月にオンライン教育サポートシステム「GAKUEN EduTrack」<通称n-track(エヌ・トラック)>を導入した。このシステムの学内リリースにより、個々の教員のITスキルや情報リテラシーの高低を問わない次世代の学習支援方法が具現化するため、授業時間外の学習範囲やその深度が増し、授業では対話型学習などの理想的な「反転授業」が実践できるなど、学生は主体的に学べる真の学習環境が得られる。これらのICTを活用した先端的教育機能の積極的導入により、飛躍的な教育改革を推進することができる教育環境も整えられたことから、課題解決に向けた主体的・協働的で、能動的な学び（アクティブラーニング）の導入など、授業方法等を革新するために、これらの具体的手法や活用方法などについて、教員への教育や研修等に積極的に取り組む。

③　学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a　実施の有無及び実施時期

前学期中に１回、後学期中に１回、あわせて２回の授業評価アンケートを行った。実施時期は次のとおり

①平成27年度前学期実施　平成27年7月13日（月）から8月7日（金）　　回答集計結果の還元　8月18日（火）

②平成27年度後学期実施　平成27年12月21日（月）から平成28年2月8日（月）　回答集計結果の還元　2月9日（火）

b　教員や学生への公開状況，方法等

本学の教学支援システム(Webサービス)NSSU PASSPORT<通称n-pass(エヌ・パス)>の専用メニューを使用し実施した。

各教科の各授業担当教員とそれらを履修する個々の学生が結びついており、アンケートへの回答は匿名化され、各設問に対する回答を自動集計した上でグラフ化（視覚化）されたものが、それぞれの授業ごとに、当該授業担当教員及び当該履修学生に即時還元される。

（注）・「①ａ　委員会の設置状況」には，関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には，実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（3） 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

児童スポーツ教育学部は、児童期における心身の発達特性に応じた体つくり、運動遊び・スポーツ、体育及び健康等の指導や支援に関する専門的な知識と技術を備えた指導者を養成することを目的として、平成25年度に開設した。

開設年度の入学試験状況は、本学部志願者総数418名（倍率2.1倍：定員200名(児童スポーツ教育コース150名、幼児教育保育コース50名)）、入学者数211名（定員倍率1.05倍(児童スポーツ教育コース1.06倍、幼児教育保育コース1.02倍）である。

開設２年目の入学試験状況は、本学部志願者総数976名（倍率4.8倍：定員200名(児童スポーツ教育コース150名、幼児教育保育コース50名)）、入学者数206名（定員倍率1.03倍(児童スポーツ教育コース1.02倍、幼児教育保育コース1.04倍）である。

開設３年目の入学試験状況は、本学部志願者総数906名（倍率4.5倍：定員200名(児童スポーツ教育コース150名、幼児教育保育コース50名)）、入学者数208名（定員倍率1.04倍(児童スポーツ教育コース1.04倍、幼児教育保育コース1.02倍）である。

開設４年目の入学試験状況は、本学部志願者総数897名（倍率4.5倍：定員200名(児童スポーツ教育コース150名、幼児教育保育コース50名)）、入学者数204名（定員倍率1.02倍(児童スポーツ教育コース1.03倍、幼児教育保育コース1.0倍）である。

所属教員が設置計画全般に関して十分に理解しており、特に、設置の趣旨を踏まえ、その目的を達成するために、授業の開設はもとより、授業の方法やその手順を計画どおりに遂行している。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・平成20年6月に自己点検・評価を公表

・平成21年3月に第三者評価の結果を公表

・平成27年6月に平成26年5月時点の自己点検・評価報告書を公表

・平成28年4月に平成27年5月時点の自己点検評価書及び認証評価機関の評価報告書を公表

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開（http://www.nittai.ac.jp/）

③ 認証評価を受ける計画

・平成27年度（2015）に公益財団法人日本高等教育評価機構による認証評価を受審し、『日本高等教育評価機構が定める大学評価基準に適合している』との判定を受けた。

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また，「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については，できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお，「② 自己点検・評価報告書」については，当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

（4） 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 （ 有 ・ 無 ）

b 公表時期（未公表の場合は予定時期） （ 平成28年 6月中 ）